

令和5年度
高知県立高等学校

学校概要

令和5年6月

高等学校振興課

目 次

室戸高等学校	1	伊野商業高等学校	2 5
同 定時制	2	春野高等学校	2 6
中芸高等学校（定時制昼間部）	3	高岡高等学校	2 7
同 （定時制夜間部）	4	同 定時制	2 8
安芸高等学校	5	高知海洋高等学校	2 9
城山高等学校	6	須崎総合高等学校	3 0
山田高等学校	7	同 定時制	3 1
同 定時制	8	佐川高等学校	3 2
嶺北高等学校	9	同 定時制	3 3
高知農業高等学校	1 0	窪川高等学校	3 4
高知東工業高等学校	1 1	禰原高等学校	3 5
同 定時制	1 2	四万十高等学校	3 6
岡豊高等学校	1 3	大方高等学校	3 7
高知東高等学校	1 4	同 定時制	3 8
高知工業高等学校	1 5	同 通信制	3 9
同 定時制	1 6	幡多農業高等学校	4 0
高知追手前高等学校	1 7	中村高等学校	4 1
同 吾北分校	1 8	同 西土佐分校	4 2
高知丸の内高等学校	1 9	宿毛工業高等学校	4 3
高知小津高等学校	2 0	宿毛高等学校	4 4
高知北高等学校（定時制昼間部）	2 1	同 定時制	4 5
同 （定時制夜間部）	2 2	清水高等学校	4 6
同 （通信制）	2 3	同 定時制	4 7
高知国際高等学校	2 4		

高知県立室戸高等学校
(全日制 総合学科)

所在地	室戸市室津 2 2 1 番地	アクセス	高知県庁より 80km (車で 2 時間) 高知東部交通室戸高校前バス停下車すぐ
TEL	0 8 8 7 - 2 2 - 1 1 5 5		
通学方法	徒歩 3 名、自転車 74 名、バス 16 名、その他 11 名		
生徒数	総合学科 合計 (104 名) 1 年次 (49) 名・2 年次 (33) 名・3 年次 (22) 名		
校訓および校章	校是 真・善・美 		校章  <p>昭和 29 年制作、室戸の力強く若さに満ちて湧き踊る波と、団結と明るさに満ちた若者を象徴したものです。 (制作者) 島村 義一 氏</p>
			創立 77 年
沿革	S21 高知県立室戸中学校同高等女学校創設 S23 高知県立室戸高等学校に改称 H 9 総合学科設置 H10 特別教室棟完成 H13 第 2 グランド完成 H14 寄宿舎棟完成 H28 創立 70 周年式典挙行 R 3 ポートリンカーン高校と姉妹校締結		(沿革コメント) 昭和 21 年に郷土における若者の教育と人材の育成を目指して創設される。 平成 9 年に高知県で初めての総合学科高校となる。 令和元年度入学生より、文理総合、生活福祉、商工業芸術の系列をおき、現在に至る。
			スクールカラー 紺色
基本情報	教育方針 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身につけ、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な人材の育成をめざす。 1 基礎・基本的な学習事項の定着と学力の向上 2 基本的生活習慣の確立 3 一人ひとりの進路希望達成 4 個性や自主性の伸長 5 家庭、中学校、地域との連携の強化 6 危機管理体制の確立と生徒の安全管理・安全教育の充実		
	進路状況 ・大学 7 名 (29.2%) 〈内 国公立 3 名〉 ・短大 3 名 (12.5%) ・専修学校等 10 名 (41.7%) ・就職県内 1 名 (4.2%) ・就職県外 3 名 (12.5%)		
	部活動 ・体育系 6 部 卓球 (男・女)、バスケットボール (男・女)、野球、バドミントン (男・女)、サッカー、女子硬式野球 ・文化系 6 部 音楽、美術、書道、放送、吹奏楽、ホームメイド		
	主な出身中学 1. 室戸中 2. 佐喜浜中 3. 羽根中 3. 吉良川中 5. 潮江中		
	教職員数 教員 (期講及び時講含) 30 名・事務職員等 7 名		
学校の特色	ユネスコスクールへの登録に向け、地域とともに歩む学校として、ESD (持続可能な開発のための教育) の視点ですべての教育活動を地域貢献につなげ、生徒を育成しています。 個別の進路希望に対応できるように、多くの一般科目や家庭・福祉・芸術・商業・工業等の専門科目を設置するだけでなく、地域の発展に寄与する人材を育成するために、「産業社会と人間」、「続・産業社会と人間」、そして「課題研究」など特色ある体験的な科目を設置し、生徒自身が自ら地域課題を見つけ、課題解決能力を身に付けることを目標としています。 さらに、室戸ユネスコ世界ジオパークの地質遺産、歴史、地理、産業等を教材として、生徒が主体的に取り組み、科学的に探究する選択科目「ジオパーク学」も設置し、発展的な学習を行うことができます。		

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

高知県立室戸高等学校
(定時制 普通科)

所在地	室戸市室津 2 2 1 番地	アクセス	高知県庁より 8 0 km (車で 2 時間) 高知東部交通室戸高校前バス停下車すぐ	
TEL	0 8 8 7 - 2 2 - 1 1 5 5			
通学方法	自転車 2 名、自家用車 1 名、バイク 2 名、その他 3 名			
生徒数	普通科合計 (8 名) 1 年次 (3) 名・2 年次 (0) 名・3 年次 (5) 名・4 年次 (0) 名			
校訓および校章	校是 真・善・美 		校章  <p>昭和 2 9 年制作、室戸の力強く若さに満ちて湧き踊る波と、団結と明るさに満ちた若者を象徴したものです。 (制作者) 島村 義一 氏</p>	
			創立 7 5 年	スクールカラー 紺色
沿革	S23 室戸高校吉良川分校として認可 S23 始業式を行う 普通科 1 6 名 被服別科 2 0 名 S57 吉良川分校廃校 S57 室戸高校本校に定時制課程を併設		(沿革コメント) 室戸高校定時制は、当初吉良川分校定時制として、吉良川地区の勤労青年を対象に、吉良川小学校の片隅に開校した。校舎は木造の粗末なもので、人件費以外はすべて市町村負担であり、教育環境は必ずしも十分ではなかった。しかし、地元青年にとっては働きつつ学べるかけがえのない学校であった。そのため、昭和 40~50 年代の各地の分校廃止の中、本校併設として存続し、現在に至っている。	
基本情報	教育方針および教育重点目標 知・徳・体のすべてに調和のとれた人格の完成を目指し、真理を愛し、勤労と責任を重んじ、文化的民主国家の形成者を育成する。			
	1 学習に励む習慣を身に付け、学力の向上に努める 2 人権教育の推進を図り、豊かな人間関係の育成に努める 3 基本的生活習慣の確立に努める 4 勤労と学習の両立を図り、活力ある学園づくりに努める 5 自己実現のための支援に努める 6 家庭、中学校、地域との連携の強化に努める			
	進路状況 ・専修等 1 名 (3 3%)・就職県内 1 名 (3 3%)・その他 1 名 (3 3%)			
	部活動 体育系 4 部 (バドミントン部・卓球部・陸上部・バスケットボール部) 卓球の部で全国定通体育大会出場【平成 2 9 年度】 バスケットボールの部で全国定通体育大会出場【令和元年度】			
	主な出身中学 1. 室戸中 2. 清水中			
教職員数 教員 (期講・時講含) 9 名・事務職員等 1 名				
学校の特色	<ul style="list-style-type: none"> 本校は、働きながら学ぶことを前提とした、夜間定時制の学校です。 学校では、勤労と学習の両立、自己実現に向け主体的に行動できる生徒の育成を目指し、教員と生徒双方が学校生活の充実に努めています。また、開かれた学校づくりの一環として開放講座や聴講制度を実施することにより、地域の方々をはじめ、多くの社会人の方々が授業に参加しています。こうした人達とのふれあいを通して、コミュニケーション力の向上や社会性の育成に繋がっています。 本校では、キャリア教育を推進するにあたって、①学ぶ意識の改善、②社会性の育成、③豊かな心の育成を三本柱として、学校経営に取り組んでいます。 			

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

高知県立中芸高等学校
(定時制 [多部制単位制 昼間部] 普通科)

所在地	安芸郡田野町1203-4	アクセス	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 田野駅から徒歩5分
TEL	0887-38-2914		
通学方法	徒歩4名、自転車6名、鉄道15名、バス1名、その他9名		
生徒数	普通科35名 1年次9名・2年次14名・3年次12名		
校訓および校章	校訓 「自主創造」「中正温雅」 高い志を持ち創造的で豊かな人間性と地域社会に貢献できる逞しさを備えた人材の育成を目指します。 		校章  昭和23年、菱形に高等学校の高の字に田野学館の館旗の白線を図案化し、田野学館の学風を受け継ぐ願いを表した。 創立75年 スクールカラー スカイブルー
	沿革	S23 高知県安芸郡中芸高等学校 (田野町外五ヶ町村組合立) S25 高知県立中芸高等学校となる (全日制普通科課程) S29 定時制 (夜間課程) が開校する S50 現校舎新築落成 H7 大規模木造格技場改築落成 H18 多部制単位制高校に改編する (定時制普通科課程)	
基本情報		教育方針 (教育重点目標) 1 生徒一人ひとりの学力の向上 2 基本的な生活習慣の定着と生徒の自主的活動の推進 3 生徒や保護者の進路希望の実現 4 地域や保護者との連携を深め、信頼される学校づくりの推進 5 生徒理解と教育相談の充実 6 教育環境の整備	
	進路状況 大学 1名 (7.7%) 専修等 4名 (30.8%) 就職県内 5名 (38.5%) 就職県外 1名 (7.7%) その他 2名 (15.4%)		
	部活動 体育系 4部、文化系 6部 令和4年度 卓球部男子団体・個人、女子団体・個人が定時制通信制の全国大会に出場		
	主な出身中学 1. 田野 2. 市立安芸、清水ヶ丘 3. 奈半利、安田、県立安芸		
学校の特徴	教職員数 教員 (期講及び時講含) 22名・事務職員等 3名		
	○ 中芸高校は、単位制の普通科高等学校です。定時制昼間部、夜間部があります。 ○ 単位制普通科高校として、普通教科・科目を中心とした多様な選択科目を設定し、生徒一人ひとりの興味・関心、進路希望に応えます。 ○ 少人数講座により、自分にあっただき細かい指導を受けることができます。 ○ 1、2年次では、学年の枠を越えた集団からなる、ピア・サポートホームにより、生徒相互が学びあったり、助けあったりできる雰囲気のあるホームルームをつくります。 ○ 学校教育アドバイザーとして、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し、悩みや相談に対処できるよう、カウンセリング体制を充実させています。 ○ 自立支援に向け、SSTやSUTなどの学校設定科目を設置しています。 ○ 遠隔授業配信センターが配信する授業や補習、講演等を受講することができます。 ○ 学校と地域の活性化を目指し、地域の人材や資源を活用しながら、地域に根ざし、地域とともに伸びる学校をつくります。 ○ 本校内に設置された県立山田特別支援学校田野分校との交流をはかり、生徒同士が互いに認め合い、共生できる学校づくりを進めます。		

高知県立中芸高等学校
(定時制 [多部制単位制 夜間部] 普通科)

所在地	安芸郡田野町1203-4	アクセス	土佐くろしお鉄道ごめんなはり線 田野駅から徒歩5分
TEL	0887-38-2914		
通学方法	鉄道9名、バイク2名、自転車1名、徒歩2名、その他6名（保護者等送迎）		
生徒数	普通科20名 1年次6名・2年次4名・3年次5名・4年次5名		
校訓および校章	校訓 「自主創造」「中正温雅」 高い志を持ち創造的で豊かな人間性と地域社会に貢献できる逞しさを備えた人材の育成を目指します。  下駄割り坂から		校章  昭和23年、菱形に高等学校の高の字に田野学館の館旗の白線を図案化し、田野学館の学風を受け継ぐ願いを表した。 創立75年 スクールカラー スカイブルー
	沿革	S23 高知県安芸郡中芸高等学校（田野町外五ヶ町村組合立） S25 高知県立中芸高等学校となる（全日制普通科課程） S29 定時制（夜間課程）が開校する S50 現校舎新築落成 H7 大規模木造格技場改築落成 H18 多部制単位制高校に改編する（定時制普通科課程）	(沿革コメント) 中芸高校は、江戸時代藩校田野学館があった場所に、昭和23年田野町を中心に羽根・奈半利・北川・安田・馬路の六ヶ町村の人々の「地域の青少年の為に地元で学べる高等学校をつくらう」という熱意によって、つくられました。 現在は、同一校舎内に山田特別支援学校田野分校も設置され、夜間部で学ぶ地域の聴講生も含めると、同じ校舎で、小学生から70歳を過ぎた高齢者までが学ぶ学校となっています。
基本情報	教育方針（重点目標） 1 学力の向上につながる授業規律の確立 2 地域に根差した学校として「リカレント教育」の推進 3 希望が実現される進路指導や就労への指導の推進		
	進路状況 令和4年度（卒業生4名） 大学1名 専門学校1名 県内就職2名		
	部活動 バドミントンと卓球の部で高知県高等学校定時制通信制高校体育大会等に出場		
	主な出身中学 清水ヶ丘、市立安芸、奈半利、田野、安田、羽根		
	教職員数 教員（期講含）10名・事務職員等 1名		
学校の特徴	○ 選択科目の中から自分で授業を選べます。 ○ 必修科目を履修し、合計74単位分の教科科目を修得すれば卒業できます。 ○ 定通併修制度を活用することにより3年間で卒業することも可能です。 ○ 学校での学習以外にも、各種検定の資格取得などにより、卒業に必要な単位とすることができます。 ○ 生涯学習の一環としてリカレント教育（聴講生制度）を実施しています。地域の社会人と一緒に授業を受講することで、お互いに刺激しあい学習意欲が高まります。 ○ 東部地域で唯一の米飯給食（有償）を実施しています。		

(令和5年5月1日現在)

高知県立安芸高等学校

(全日制 普通科・環境建設科・機械土木科・情報ビジネス科・ビジネス科)

所在地	清和校舎：安芸市清和町1-54 桜ヶ丘校舎：安芸市桜ヶ丘町784	アク セス	清和校舎：ごめん・なはり線安芸駅から徒歩15分 桜ヶ丘校舎：ごめん・なはり線安芸球場前下車駅から徒歩3分
TEL	清和校舎：0887-34-1145 桜ヶ丘校舎：0887-35-2020		
通学方法	徒歩31名、自転車98名、鉄道93名、バス47名、その他57名		
生徒数	普通科(241名) 機械土木科・環境建設科(37名) ビジネス科・情報ビジネス科(48名) 合計(326名) 1学年 125名 2学年 105名 3学年 96名		
校訓 および 校章	校訓 「信愛」「誠実」「努力」  ※イメージ図(令和6年3月完成予定)		校章  多面的に広げる視野の育成を心象にした立体的なデザインです。海原渡る帆船にも着想した、凜と聳える安芸の頭文字“A”と高等学校の“H”を帆の象徴として掲げ時勢の風調と波調を読み取るグローバル視野と探究心を培う育成方針を表現した校章です。 令和5年度創立 スクールカラー (青色:C100 M70)
	沿革 平成14年 高知県立安芸中学校を併設【安芸安芸桜ヶ丘高等学校と校名変更【桜ヶ丘】】 令和3年 高知県立安芸中学校・高等学校に校名が決定 令和4年 環境建設科を機械土木科情報ビジネス科をビジネス科に学科改編【桜ヶ丘】校章が決定 令和5年 校歌が完成 開校式を挙行		(沿革コメント) 平成14年度から安芸高等学校は併設型中高一貫校として、安芸桜ヶ丘高等学校は学科改編し、建設科を環境建設科に、工業化学科・電気科を環境エネルギー科に学科改編、情報ビジネス科を新設した。令和4年度には環境建設科を機械土木科、情報ビジネス科をビジネス科に学科改編した。令和4年度に校章を公募にて決定し、令和5年度に校歌を生徒たちの作詞と高知県出身の松下氏の作曲にて完成し、開校式を迎えた。
基本 情報	教育方針 1 真理と正義を愛する。2 勤労と責任を重んじる。3 自他の敬愛と協力を尊ぶ。4 創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。5 知性と情操を高め、心身の健康を増進する。 教育目標 1 自己実現 2 文武両道 3 自主自立 4 地域貢献		
	進路状況 安芸高校 ・大 学34名(64%)〈内 国公立大学11名〉・短大3名(6%) ・専修等7名(13%)・就職県内4名(8%)・就職県外1名(2%) ・その他4名(8%) 桜ヶ丘高校 ・大 学3名(16%)・専修等5名(26%)・就職県内9名(47%) ・就職県外2名(11%)		
	部活動 体育系 13部、文化系 10部、同好会 2部 インターハイ・全国大会出場：体操競技部・陸上競技部・書道部 四国大会出場：陸上競技部・体操競技部・弓道部・吹奏楽部		
	主な出身中学 1. 県立安芸中 2. 清水ヶ丘中 3. 市立安芸中 4. 羽根中 5. 室戸中		
学校 の 特色	教職員数 教員(期講及び時講含)62名・実習助手(期付含)3名・事務職員等19名		
	今年度より県立安芸中学校・高等学校と県立安芸桜ヶ丘高等学校とが統合し東部地域の教育をリードする学校として、中高一貫教育校で普通科・専門科を有する2校の歴史と伝統を継承する新しい学校としてスタートしました。本校は、東部地域の3つの拠点「学びの拠点」「部活動の拠点」「地域の拠点」として、6年間を通した中高一貫教育を核に、普通教育と専門教育の強みを横断的に生かし、生徒一人一人の進路希望を実現できる学校、また、部活動を通して、主体性、協調性、責任感を身に付け豊かな人間性を育成する学校、さらにはグローバルな視点を持ち、地域課題を探究し、地域をけん引し支えることができる人材を育成する学校です。		

高知県立城山高等学校

(全日制 普通科)

所在地	香南市赤岡町1612	アクセス	ごめん・なはり線「赤岡駅」より 北へ徒歩約10分
TEL	0887-55-2126		
通学方法	自転車 46名、 鉄道・自転車 9名、 鉄道・徒歩 6名、その他 9名		
生徒数	普通科(70名) 1年次(25名) 2年次(20名) 3年次(25名)		
校訓および校章	校訓 「教養ある人たれ」  <p>教養のある人に 仕上げることを意 味する。</p>		校章 本校は、香宗我部氏の出城、須 留田城遺跡に建っており、六角 形の三ツ石は石垣を表す。昇藤 は生徒が向上心を持って伸びて もらいたいという意味がある。
			創立78年 スクールカラー ブルー
沿革	S21 高知県立城山中学校・高等女学校と して開校。 S23 現在の校名となる。 S24 高知県立城山高等学校 別科(被服科)第1期生卒業 S25 普通科第1期生卒業 S27 定時制 農業科第1期生卒業 S33 別科(被服科)を定時制農業科に 改編合併 S45 体育科設置 S52 定時制農業科廃止 H10 体育科閉科 H29 全日制単位制に改編		(沿革コメント) 城山高等学校は明治14年、赤岡中学校として発 足しており、その意味では142年の長い歴史をも つ伝統校である。昭和24年に高知県立城山高等学 校として1期生が卒業して以来、現在に至るまで、 香南地域の教育的機関の中心的な存在として教育・ 文化の向上に大きな役割を果たし現在に至る。平成 28年度には創立70年記念行事(式典・体育祭・文 化祭)を行う。 平成29年度入学生からは全日制・単位制に移行。 2学期制を導入。ICTを活用した授業の実施。
基本情報	教育方針 学力、自主性、規律、人間尊重に留意した教育活動を展開する。 1 学力の向上・・・学習意欲の高揚を図りつつ、基礎・基本となる学力の修得に努め、それぞれが 希望する進路の実現を目指します。 2 自主性の育成・・・自主的な生活習慣を養い、生徒会活動・部活動の活性化及びボランティア活動 の推進を図ります。 3 規律の遵守・・・社会の一員としての自覚と責任をもち、規律や礼儀、公共性をわきまえ、何事 にも公正な判断のできる人間の育成に努めます。 4 人間尊重の精神の育成・・・一人ひとりを大切に人間尊重の精神に基づいた人権教育及び教 育相談活動の充実を図ります。		
	進路状況(令和4年度) 卒業生25名 短期大学2名(8%) 専修・各種学校17名(68%) 就職6名(24%)		
	部活動 体育系 剣道部 バスケットボール部 卓球部 サッカー部 文化系 吹奏楽部 写真部 放送部 ふくしデザイン部 ホームライフ部 イラストデザイン部 ビジネス研究部		
	主な出身中学 1. 野市中 2. 香長中 2. 一宮中 4. 介良中 5. 夜須中 5. 香南中		
学校の特色	教職員数 教員(期講及び時講含)28名・実習助手1名・事務職員等7名		
	2年次から4つの型を設け、少人数できめの細かい授業を展開しています。 福祉型 社会福祉に関する知識や技術を中心に学ぶことによって、介護職員初任者研修修了者の資 格取得を目指します。 家庭型 家庭科の専門科目を選択することによって、保育・被服・調理系の上級学校や就職をめざ します。 商業型 商業・情報の専門科目を選択することによって、情報系の上級学校や事務系の就職をめざ します。 文理型 大学・短大等への進学を目指します。 <生徒支援体制の充実> 個々の生徒の自立を目指し学習上の困難を主体的に改善・克服することを目的とした通級による指 導(API)科目を全学年の教育課程に設置し、希望者は履修できるようにしています。		

高知県立山田高等学校
(全日制 普通科・グローバル探究科・ビジネス探究科)


所在地	香美市土佐山田町旭町3丁目1-3	アクセス	J R土佐山田駅から徒歩5分
TEL	0887-52-3151		
通学方法	徒歩39名、自転車186名、鉄道37名、バス18名、その他25名		
生徒数	普通科186名、グローバル探究科36名 ビジネス探究科83名 1学年97名、2学年111名、3学年97名 合計305名		
校訓 および 校章	校訓 誠実にあれ 誇らかにあれ 貫きてあれ  南舎より中庭、北舎を望む		校章  この校章は昭和24年8月に制定されたもので、漢字の「山」と「田」を組み合わせた図案の中に「高」の字を配したものである。 (制作：当時の図工担当教員 福富 栄)
			創立 83 年
沿革	S16 高知県立山田高等女学校 S24 高知県立山田高等学校 男女共学 昼間定時制課程併設 S27 昼間定時制課程を夜間部に切替 S37 商業科設置 H22 創立70周年記念式典挙行 R2 新学科「グローバル探究科」開設 商業科を「ビジネス探究科」に改編		(沿革コメント) 本校は、昭和16年4月、医学博士故八井田寛先生の献身的な尽力と多くの関係者の方々の協力により、高知県立山田高等女学校として開校しました。昭和23年の学制改革により山田高等学校と改称し、普通科全日制、定時制及び分校を併設した男女共学の新制高校として新たにスタートし、その後社会の進展に伴い、分校の廃止、商業科の新設等の変遷を経て、今日に至っています。令和2年度には新学科の開設と商業科の改編を通して、新時代を担う人材を育成しています。今年度で創立83周年を迎えた、歴史と伝統のある学校です。
基本 情報	教育方針 高い志を掲げ郷土への愛着と誇りを持つとともに柔軟な国際感覚と社会に貢献する気概と実践力を備えた、知・徳・体の調和の取れた人物を育成する。		
	進路状況 大学45名(40%) <内 国公立大学21名> 短大7名(6%) 高知職業能力開発短期大学3名(3%) 専修学校等32名(28%) 就職県内23名(20%) 就職県外2名(2%) その他1名(1%) 卒業生数113名 グローバル探究科国公立大学希望者全員合格(15名中14名合格)		
	部活動 体育系(11部) 文化系(15部) ボランティア部(主な活躍実績) 【女子陸上部】第34回全国高等学校駅伝競走大会11位(34年連続出場) 【弓道部】令和四年度高知県夏季大会女子団体競技第1位 【美術部】令和4年度高知県高等学校総合文化祭第67回高校美術展「平面の部」最優秀賞 【地域みらい部】令和四年度第37回高知県地場産業大賞 次世代賞		
	主な出身中学 1. 鏡野中 2. 野市中 3. 香長中 4. 香北中・香我美中 5. 鷹ヶ池中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)47名・実習助手2名・ALT・事務職員3名		
学校 の 特色	○グローバル探究科・ビジネス探究科では、「探究」を基礎からしっかりと学び、これからの社会でより必要とされる好奇心や、深く物事を考える力、考えたことを結びつける力、チャレンジする力等を育てます。 ○普通科では「地域課題探究」という科目で、企業や官公庁と協働しながら課題探究学習を実践し、市や県への政策提言などを行い、地域社会に貢献できる人材を育成します。 ○地元の教育機関(幼稚園・小中学校・山田特別支援学校・高知工科大学等)や地元企業等との連携・協働した教育活動を長年実践し評価を得ています。 ○部活動を充実させ、個性と能力を伸ばす「文武両道」の学校づくりを推進しています。 ○アメリカ合衆国フロリダ州ラーゴ高校と姉妹校提携を結び、短期留学の交流活動に取り組むなどグローバル教育を推進しています。 ○高校3年間の多くの体験活動を通して進路選択の幅を広げています。		

(令和5年5月1日現在)

高知県立山田高等学校
(定時制 普通科)

所在地	香美市土佐山田町旭町3丁目1-3	アクセス	J R土佐山田駅徒歩5分
TEL	0887-52-3151		
通学方法	徒歩8名、自転車5名、鉄道3名、バイク2名、バス1名、その他3名		
生徒数	普通科22名 1年次6名、2年次6名、3年次8名、4年次2名		
校訓および校章	校訓 誠実にあれ 誇らかにあれ 貫きてあれ  南舎より中庭、北舎を望む		校章  この校章は昭和24年8月に制定されたもので、漢字の「山」と「田」を組み合わせた図案の中に「高」の字を配したものである。 (制作：当時の図工担当教員 福富 栄)
			創立83年
沿革	S24 鏡野高等学校と合併 高知県立山田高等学校となる S27 定時制昼間部を夜間部に S29 校歌、校旗制定 S54 食堂兼会議室新築 H18 単位制高校となる H22 創立70周年記念式典挙行		(沿革コメント) 昭和27年定時制夜間部が設置されて、定時制の歴史が始まりました。以来現在まで、高知県の勤労青年が学ぶ定時制の高等学校として、また近年は中途退学者や不登校経験者等の教育の場として役割を果たしてきています。
基本情報	教育方針 高い志を掲げ郷土への愛着と誇りを持つとともに柔軟な国際感覚と社会に貢献する気概と実践力を備えた、知・徳・体の調和の取れた人物を育成する。		
	進路状況 ・専修学校等2名(100%)		
	部活動 体育系 バドミントン部、陸上部、卓球部 文化系 読書部 第70高知県定時制通信制高等学校体育大会バドミントン男子団体3位、女子団体2位		
	主な出身中学 1. 鏡野中 2. 鳶ヶ池中 3. 北稜中 赤岡中 野市中 等		
	教職員数 教員(期講及び時講含)11名・事務職員等1名		
学校の特色	本校では、単位制の特色を生かした教育課程を編成し、高知北高等学校通信制との定通併修制度を活用して、3年間で卒業できる制度である三修制を導入しています。例年この制度により数名の生徒が3年間で卒業しています。本年度は全学年で5名の生徒がこの制度を活用しています。 また、少人数で落ち着いた環境のもと、より充実した高校生活を送ることができるように、次のような取組を行っています。 ・「わかる授業」に努め、夏季・冬季休業中には基礎補習を行い、基礎学力の定着・向上に取り組んでいます。 ・進路講演会や専門学校・企業訪問、進路ガイダンスや進学・就職補習、職場見学・体験を行っています。これらにより、職業観や勤労観の育成を図るとともに、進路意識の醸成に努めています。進学においては、昨年度は、専門学校に2名が合格しました。昨年度の就職希望者は0でしたが、卒業生の進路決定率は14年連続で100%を達成しています。 ・クラスや校内の生活体験発表会を行っています。この発表会に向け、高校生活や将来の夢など生徒に自分自身と対峙させます。各自の思いをクラスや全校生徒の前で発表することにより、自己肯定感を高めるとともに、お互いを理解し、励ましあい、学び合う機会になっています。		

高知県立嶺北高等学校
(全日制 普通科)

所在地	長岡郡本山町本山 727 番地	アクセス	J R大杉駅から嶺北観光バス 嶺北高校前下車、徒歩 0 分
TEL	0 8 8 7 - 7 6 - 2 0 7 4		
通学方法	徒歩 27 名、自転車 51 名、バス 1 名、その他 16 名		
生徒数	普通科 (95 名) 1 学年/年次(27)名・2 学年/年次(40)名・3 学年/年次(28)名		
校訓および校章	校訓 校訓として定めているものはありませんが、嶺北地域連携型中高一貫教育校として「中高一貫の6年間を熱く語り、自分と地域の未来を切り拓くことのできる生徒を育てる」を目標としています。		校章  ペンと剣を図案化したもの。剣の上にペンを置き「ペンは剣に勝る」ことを表している。
			創立 7 5 年 スクールカラー 緑
沿革	昭和23年 高知農業高等学校本山分校及び森分校設置 昭和28年 高知県立嶺北高等学校として独立(全日制普通科、定時制農業科・被服別科) 平成8年 中高連携教育推進校に指定 平成13年 中高一貫教育開発校に指定 平成19年 同居連携型中高一貫教育開始		(沿革コメント) 昭和28年に嶺北地域唯一の高等学校として独立し、普通科、農林科、生活科の3学科を要していたが、地域の生徒数の減少により、昭和59年度からは普通科のみとなる。 平成8年度以降は地域の中学校と中高連携教育に取り組んできた。特に、平成19年度からは嶺北中学校と同居、土佐町中学校とは連携という新しい形の中高一貫教育に取り組んでいる。
基本情報	教育方針 連携する2つの中学校と「つながる」意識を強く持ち、「中高一貫の6年間を熱く語り、自分と地域の未来を切り拓くことのできる生徒を育てる」という共通目標のもと、中高一貫教育に取り組んでいます。 「目指す生徒像」を、【3つの力】(活用応用力・地域課題解決スキル・言語運用能力)と【3つの精神】(主体性の精神・地域創造の精神・多文化協働の精神)を身につけた生徒とし、自分、地域、そして将来を熱く語れるよう、学習・部活動・学校行事・地域での活動に積極的に取り組むための支援をしています。		
	進路状況 ・大学9名(28%)〈内 国公立大学2名〉 ・短大3名(9%)・専修等19名(60%) ・就職1名〈県内1名〉(3%)		
	部活動 体育系6部、文化系3部、同好会1		
	主な出身中学 1. 土佐町中 2. 嶺北中 3. 大川中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)25名・実習助手(期付含)1名・事務職員等5名		
学校の特色	1 教育方針に沿って、次の事項を重点的に取り組みます。 ① 学力及び学習意欲の育成 ・授業外での学習習慣を育成する。・教科科目の基礎的知識・技能を育成する。 ・生徒が学んだ知識をもとに自ら考え、まとめたり、発表したりする機会を授業に設け、生徒が主体的・能動的・探究的に学習する力を育成する。 ② 社会性の育成 ・[3つの精神]を育成する。 ・自己管理能力(生活リズム・読書習慣・母語運用)を育成する。 ・健全な生活リズム(食事、睡眠、学習) ・読書習慣(日常的に図書に触れ親しむ姿勢や習慣) ・他者との円滑なコミュニケーションを図る母語運用 2 2コース4プログラムを設置し、多様な進路希望に対応しています。 ・ 実践キャリアコース 農業系プログラム/商業系プログラム (就職、専修各種学校・短大・私立四年制大学等への進学に適しています) ・ 進学キャリアコース 文系プログラム/理系プログラム (国公立四年制大学・私立四年制大学・海外の大学等への進学に適しています)		

(令和5年5月1日現在)



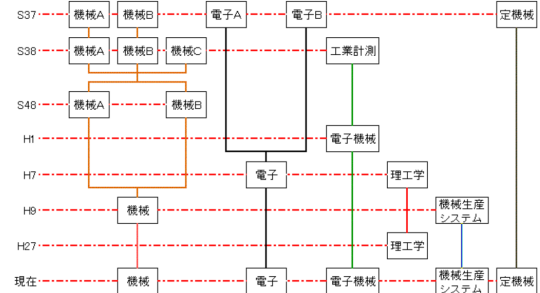

高知県立高知農業高等学校

(全日制 農業総合科・畜産総合科・森林総合科・環境土木科・食品ビジネス科・生活総合科)

所在地	南国市東崎 957-1	アクセス	○JR・土佐くろしお鉄道 後免駅下車 徒歩 5 分
T E L	088-863-3155		○電車・バス 後免東町下車 徒歩 10 分 ○バス 農業高校通り下車 徒歩 2 分
通学方法	徒歩 34 名、自転車 222 名、鉄道 198 名、電車 15 名、その他 16 名		
生徒数	農業総合科(107 名)・畜産総合科(70 名)・森林総合科(47 名)・環境土木科(57 名) 食品ビジネス科(98 名)・生活総合科(106 名) 合計(485 名) 1 学年(179 名)・2 学年(154 名)・3 学年(152 名)		
校訓および校章	校訓 誠実・勤労・剛健・協調 高農三訓 時間厳守 気持ちのよい挨拶 整理整頓		校章  「農は国の本なり」を象徴し、昭和 23 年に図化した。 創立 133 年
			スクールカラー 濃い緑色(作物の緑を表す)
沿革	明治 23 年 高知県農学校として開校 大正 12 年 新校舎、長岡郡長岡村(現在地)に移転 昭和 23 年 新制度による高知県立高知農業高等学校となる 平成 17 年 学科改編により、農業総合科、畜産総合科、森林総合科、環境土木科、食品ビジネス科、生活総合科を新設する 令和 3 年 創立 130 周年記念行事	(沿革コメント) 本校は明治 23 年 9 月 9 日、高知県農学校として高知市北門筋(現:丸ノ内)に開校した。 その後、幾多の変遷を経て、大正 12 年 4 月 1 日、現在地に移転し、昭和 23 年 4 月 1 日、新制度により、高知県立高知農業高等学校と改めた。全国屈指の歴史ある農業高校であり、1 万 9 千余名の卒業生は、政界をはじめ、経済・産業・教育界等で活躍している。	
基本情報	教育方針 「農」を学び、「農」で学び、心豊かな人間性を育むとともに、高い志を持って未来を切り拓くことができる、たくましい郷土の担い手を育成する。		
	進路状況 ・大学 47 名(26%) (うち国公立大学 4 名) ・短大 3 名(1.7%) ・専修等 75 名(41.4%) ・就職県内 45 名(24.9%) ・就職県外 8 名(4.5%) ・その他 3 名(1.7%) 進学: 約 69% が進学 就職: 内定 100% 県内就職者は屈指の 85% を誇り、高い地元志向に込めている。		
	部活動 体育系 15 部、文化系 11 部、農業系専門部 6 部 相撲、アーチェリー、陸上競技、新聞、放送の 5 部が全国大会に出場。 農業系専門部では、畜産クラブや生活クラブなど、各科に属する 6 部が活動中。		
	主な出身中学 1. 香長中 2. 北陵中・愛宕中 3. 城東中 4. 野市中・介良中 5. 鏡野中		
	教職員数 教員(期講及び時間講師含) 63 名・実習助手(期付含) 12 名・事務職員等 11 名		
学校の特徴	(1) 教育重点目標である、①学力の向上及び進路保障 ②「農」を学び、「農」で学ぶ ③新たな農業を学ぶ ④関係機関や地域との連携 ⑤部活動及び農業クラブ等の積極的な取組の達成へ向け、学校全体で取り組んでいます。 (2) 3 年間の学習を通して、生徒の進路は、農業関係に加え、様々な分野への就職や進学をしています。 (3) 2 年生から全学科に 2 つのコースを設け、生徒の多様な進路希望にも対応できる教育課程を編成しています。 (4) 実験室、温室、コンピュータ室、バイオテクノロジー施設などを設置し、さらに最新の農業や農業技術を学習・習得できるよう、環境制御技術を導入した次世代型温室ハウスが完成し稼働を始めました。 (5) 植物を栽培し、動物を飼育する中で、命の尊厳やもの大切さなど「豊かな心を育む教育」を実践しています。 (6) 農業のもつ教育力を最大限活用するとともに、体育祭や学園祭などの学校行事を重んじ、部活動や農業クラブ活動など数々の「活躍の場」が設けられています。 (7) 遠隔地生徒のために寄宿舎(舟入寮: 定員 92 名)が整備されています。 (8) 身に付けた専門力を推薦材料として希望進路を実現しています。(令和 4 年度進路決定 100%) (9) 幼・保・小学生対象の「食と命の学習」「高農クリーン作戦」をはじめとする、地域への農業力還元活動や、「高農ふれあい市」等地域イベント参加など学校開放活動に積極的に取り組んでいます。 (10) JGAP 認証取得(農業総合科で水稻の認証)や HACCP 教育推進(畜産総合科)に向け関係機関との連携を進めるとともに、さらに学習を深めています。		



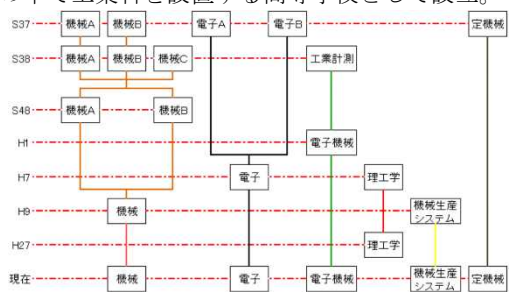
(令和 5 年 5 月 1 日現在)

高知県立高知東工業高等学校
(全日制 機械科・機械生産システム科・電子科・電子機械科)

所在地	高知県南国市篠原1590番地	アクセス	JR「後免駅」から徒歩15分 とさでん交通「東工業前」から徒歩5分
TEL	088-863-2188		
通学方法	徒歩5名、自転車194名、鉄道38名、電車5名、その他11名		
生徒数	機械科94名、機械生産システム科44名、電子科61名、電子機械科54名 1学年90名、2学年83名、3学年80名 合計253名		
校訓 および 校章	校訓 教育重点目標 1. (規律) 一節度ある生活態度をとろう 2. (勤勉) 一進んで勉強し実力をつけよう 3. (健康) 一安全で健康な毎日を送ろう  玄関に掲げられた学校教育スローガンが、生徒を見つめている。		校章 中央の工は、工業の「工」をもとに、天と地を人によって結び、天地の資源を開発する人間を表している。両方の翼は若人が希望に燃えて飛び立つ姿をあらわす。(制作者:渡辺満穂氏) 
	創立62年	スクールカラー オレンジ	
沿革	昭和37年、時代の要請や地元産業振興への期待の中で工業科を設置する高等学校として設立。 		(沿革コメント) 工作機器・設備を備えた機械工場は充実した施設で、ものづくりの基礎から時代に応じた先端技術まで幅広い工業教育を実践している。また、きめ細かい指導ができるように教育課程を編成し、工業系大学等への進学にも対応できるように教育活動の充実を図っている。 勤労と責任を重んじ、たくましい実践力と想像力に富む、健康で品格ある工業技術者の育成という基本方針を掲げ、多くの卒業生を全国に送り出している。
基本情報	教育方針 日本国憲法及び教育基本法に基づき、平和を希求し、勤労と責任を重んじ、たくましい実践力と創造性に富み、健康で品格のある工業技術者を育成する。 学校教育スローガン ○凡事徹底！ ○夢ありて目標あり！ 目標ありて計画あり！ 計画ありて行動あり！ 行動ありて成果あり！ ○ものづくりから人づくり・絆づくり ○白銀のつばさに載せて進めよ東工業		
	進路状況 大学5名(5.3%)〈内 国公立大学3名〉専修・職訓等33名(34.7%) 就職県内41名(43.2%) 就職県外13名(13.7%) その他3名(3.1%) ○就職希望の割合は60%前後であり、昨年度の就職内定率は100%であった。 ○進学面では、理工系の学科への希望が高く、ほぼ希望の学校への進学を果たしている。		
	部活動 体育系11部、文化系4部、同好会2部 ○体育系では、バレーボール部、体操部、弓道部、野球部、卓球部、ソフトボール部、サッカー部、バスケットボール部、ハンドボール部等が活躍している。 ○文化系では、機械工作部、情報技術部等が高い技術力でものづくりに取り組み、各種大会や発表会で活躍している。		
	主な出身中学(人) 1.香長中(22) 2.一宮中(21) 3.愛宕中(19) 4.城東中(18) 5.野市中(17)		
学校の特徴	教職員数 教員(実習助手、期講及び時講含)53名・事務職員等7名		
	工業の各分野の中でも、機械系・電子系に特化した学科編成となっている。高い工業技術を必要とする企業への就職や理工系の大学・専門学校への進学に対応させ、それぞれの学科が、特色ある教育内容を実践している。特に3次元CADシステムやマシニングセンタ、CNC、レーザ加工機、FMSなど充実の工作機械を使ったものづくりを実践するとともに、資格取得についても熱心に取り組んでおり、多くの生徒がジュニアマイスターの称号を取得している。さらに、平成30年度には韓国の柳韓工業高等学校と協定を結び、国際教育にも力を入れており、交換留学も実施予定である。 就職・進学 		

(令和5年5月1日現在)

高知県立高知東工業高等学校 (定時制 機械科)

所在地	南国市篠原1590番地	アクセス	JR「ごめん駅」から徒歩15分 とさでん交通「東工業前」から徒歩3分
TEL	088-863-2188		
通学方法	徒歩3名、自転車4名、バイク3名、その他2名		
生徒数	機械科12名 1年次3名、2年次4名、3年次2名、4年次3名		
校訓および校章	教育重点目標 1. 規律 2. 勤勉 3. 健康 	校章 中央の工は、工業の「工」をもとに、天と地を人によって結び、天地の資源を開発する人間を表している。両方の翼は若人が希望に燃えて飛び立つ姿をあらわす。 (制作者:渡辺満稔氏)	
	創立62年	スクールカラー オレンジ	
沿革	昭和37年、時代の要請や地元産業振興への期待の中で工業科を設置する高等学校として設立。 		
基本情報	教育方針 日本国憲法及び教育基本法に基づき、平和を希求し、勤労と責任を重んじ、たくましい実践力と創造性に富み、健康で品格のある工業技術者を育成する。 学校教育スローガン ○「ものづくりは面白い」 ○凡事徹底！ ○夢ありて 目標あり！ 目標ありて 計画あり！ 計画ありて 行動あり！ 行動ありて 成果あり！ ○ものづくりから人づくり・絆づくり		
進路状況	・専修等 1名 (33%) ・就職県外 1名 (33%)		
部活動	体育系2部、文化系1部 体育系ではバドミントン部が活発に活動している。 文化系では機械系クラブが資格取得や技術競技大会で活躍している。		
主な出身中学	1. 香長中 2. 北稜中 3. 香南中 4. 大津中 5. 野市中		
教職員数	教員(期講及び時講含) 14名・事務職員等1名		
学校の特色	本課程は全日制と同じく昭和37年に開校、設置された機械系単科の課程である。農業機械を生産する地元有力企業に職を持つ少年の「働きながら学ぶ」場として位置づけられてきた歴史的経緯があり、現在でもそのイズムは受け継がれている。平成13年には機械工場を新設、全国屈指の施設設備を導入、社会の変化に対応できる技術者養成を目指す全日制と同様に、ものづくりを通じて人づくり教育を推進し、将来その技術によって自活していこうという考え方が校内に溢れている学校・課程である。 また、高知北高校通信制を利用した定通併修、高知高等技術学校との技能連携などにより、3年間で卒業することを可能とした魅力ある定時制である。		

(令和5年5月1日現在)

高知県立岡豊高等学校
(全日制 普通科)

所在地	南国市岡豊町中島511-1	アクセス	JR土佐大津駅より徒歩10分 とさでん交通領石通電停より徒歩10分
TEL	088-866-1313		
通学方法	徒歩8名、自転車608名、鉄道118名、電車9名、その他130名		
生徒数	普通科873名 1学年277名、2学年303名、3学年293名		
校訓および校章	校是 学力・人柄・健康  校舎正門付近	校章 	記章  岡豊の頭文字の「O」と高等学校の頭文字「H」、それに勉学を示すペン先を組み合わせる中で、岡豊城址のふもとの田園地帯に立地した特色ある建物とおもみのある円満な調和の取れた人間性豊かな人物の育成、更に未来に向かって飛躍発展する姿のイメージが象徴されるように図案化したものである。 (制作者 松井みき子氏) 記章は平成3年4月1日、制服に使用するために制定したもので、岡豊の頭文字の「O」の花文字を図案化したものである。
		創立40年	スクールカラー 広大な自然と緑に恵まれた立地環境と若々しさや新鮮さ等を感じさせる色のイメージを総合して、スクールカラーを緑(グリーン)と決定した。
沿革	S58 高知県立岡豊高等学校として開設 S59 第一期生入学 H8 普通科体育コース設置(全県学区) H15 普通科芸術コース全県学区に変更 H23 普通科全県学区に変更	(沿革コメント) 高知学区の生徒の増加や新時代の様々な要請に応えるために、土佐のまほろばと言われる自然豊かなここ岡豊の地に、全国に先駆けて普通科の中に総合選択制を取り入れた新しいタイプの高等学校として誕生し、現在に至る。	
基本情報	教育目標 教育方針 教育重点目標 進路状況	「自らの可能性を信じ、あらゆることにチャレンジできる生徒の育成」 「国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた心身ともに健康な人間を育成する。」 1 礼節を重んじる精神の育成 2 学力の向上 3 意欲の育成 4 部活動の充実 大学114名(42.2%)<内 国公立大学19名> 短大24名(8.9%) 専修等89名(33.0%) 就職32名<県内21名・県外10名、内 公務員8名> (11.8%) その他11名(4.1%)	
	部活動	体育系16部・文化系18部 (令和4年度全国大会成績) ◇全国高校総体 男子ソフトボール部 ベスト16 柔道 男子66kg級 第3位 剣道 女子団体 第五位 ボクシング ピン級 ベスト16 ◇第14回全日本都道府県女子剣道優勝大会 第3位(県代表として1名が参加) ◇第70回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 全国家庭科教育協会賞、全国高等学校長協会家庭部会賞 全国高等学校家庭クラブ連盟賞 ◇毎日新聞社・全国学校図書館協議会第33回読書感想画中央コンクール高等学校の部 奨励賞 ◇第38回高門宮杯日本武道館書写書道大展示会 日本武道館奨励賞、日本武道館賞、大会奨励賞◇第51回全国高校書道展 特選 準特選 ◇第21回全国書道展 半紙の部 大学賞 ◇第19回安芸全国書展高校生大会 書道美術館賞 入選 ◇第27回全日本高校・大学生書道展 準優秀 ◇第31回国際高校生選抜書道展 入選 ◇一般財団法人日本森林林業振興会山火事予防ポスター 文部科学大臣賞、森林火災対策協会会長賞、入選 ◇2022 総文 合唱部、吹奏楽部、ギター部、美術部、囲碁・将棋部、書道部、文芸部(以上、出場)	
	主な出身中学	1. 香長中 2. 一宮中 3. 介良中 4. 野市中 5. 鏡野中	
	教職員数	教員(期講及び時講含)91名・実習助手3名・事務職員等7名	
学校の特色	ゆとりと特色のある施設・設備に恵まれ、「生徒一人ひとりを大切にし、能力を最大限に伸ばして、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かでたくましい人づくり」を目指し、(1)在り方生き方の指導(2)徹底した学習指導(3)人権の尊重(4)厳しい中にも温かみのある生徒指導(5)特別活動や課外活動の充実(6)適切な進路指導 を柱として教育活動に取り組んでいる。これらの目標を実現するために、教育の内容を「国公立文系」「私立文系」「理系」「ビジネス系」「生活文化系」の5つの類型と「体育」「芸術(音楽)(美術)(書道)」の2コースを設け、「自らの可能性を信じ、あらゆることにチャレンジできる生徒の育成」を目標とし、1年次には課題探究と自己理解、2年次には自己探究と進路目標の設定、3年次では進路実現をテーマに『生きる力』をもった生徒の育成に取り組んでいる。礼節を重視し、部活動においても自主的・積極的な活動を奨励しており、充実した施設と良き指導者のもとでこれまでに40回の「日本一」に輝くなど、体育系・文化系ともに素晴らしい成果をあげている。		

高知県立高知東高等学校
(全日制 総合学科・看護科・看護専攻科)

所在地	高知市一宮徳谷 23 番 1 号	アクセス	J R 土佐一宮駅から徒歩 10 分
TEL	0 8 8 - 8 4 5 - 5 7 5 1		とさでん交通バス一宮神社前から徒歩 15 分
通学方法	徒歩 15 名、自転車 457 名、鉄道 225 名、バス 1 名、その他 17 名		
生徒数	総合学科(582 名)・看護科(86 名)・看護専攻科(47 名) 合計 715 名 1 年次(200 名) 1 学年(30 名)・2 年次(194 名) 2 学年(31 名)・3 年次(188 名) 3 学年(25 名) 看護専攻科 1 学年(20 名)・2 学年(27 名)		
校訓 および 校章	校訓 建学の精神「立志」 「立志」とは、「将来の目標を定め、その達成をこころざす精神」のことです。  校舎玄関付近		校章  昭和 50 年、東高校の頭文字の『ひ』を図案化し、新しい高校のイメージを、重みと格調をもって近代的な形で表し、立志の精神により未来に向かって飛躍発展する姿勢を象徴したものです。(制作者：折原正典氏)
			創立 48 年 スクールカラー 臙脂(えんじ)色
沿革	S50 高知県立高知東高等学校として開校(普通科・衛生看護科) S51 第一期生入学 H 5 国際科開設 H12 普通科・国際科を改編し総合学科開設 H14 衛生看護科を 5 年一貫教育(看護科・看護専攻科)とする		(沿革コメント) 昭和 50 年、第二次ベビーブームによる生徒数急増に伴い、高知市東部の一宮地区に普通科・衛生看護科を設置し開校する。 平成 5 年には、国際社会に対応できる人材育成を目標に国際科を開設する。 平成 12 年に普通科・国際科を総合学科に改編し、高知県で 2 校目となる総合学科開設校となる。平成 14 年には、衛生看護科を 5 年一貫教育の看護科・看護専攻科と改編し現在に至る。
基本情報	教育方針 社会の有為な形成者としての資質を目指し、心豊かで、心身ともに健康で、建学の精神「立志」を大切に、自ら判断して正しく行動できる人間を形成する。		
	1 個性の伸長 2 創造的思考力の育成 3 自覚と責任感の高揚		4 健康と体力の増進 5 豊かな情操の涵養 6 人権意識の高揚
	進路状況 大学 33 名(16%)<内国公立大学 4 名>、短大 22 名(11%)、専修等 101 名(50%) 就職県内 7 名(3%)、就職県外 4 名(2%)、専攻科 20 名(10%)、その他 16 名(8%)		
	部活動 体育系 18 部、文化系 14 部 令和 4 年度；レスリング部・・・国民体育大会レスリング競技(男子個人) 第 3 位 水泳部・・・全国高等学校総合体育大会(男子水球の部) 第 3 位 弓道部・・・全国高等学校総合体育大会(男子個人) 出場 科学部・・・全国高等学校総合文化祭 出場 書道部・・・全国高等学校総合文化祭(個人) 出場 全国学生書道展 半紙の部(個人) 準大賞		
主な出身中学 1. 一宮中 2. 愛宕中 3. 城東中 4. 潮江中 5. 香長中			
教職員数 教員(期講及び時講含) 83 名、実習助手(期付含) 3 名、事務職員等 7 名			
学校の特徴	総合学科の教育の特色は、「幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し、学ぶことが可能であり、個性を生かした主体的な学習を重視し、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習の重視」にある。また、多様な生徒たちにとって柔軟な科目選択ができるメリットがあり、生徒・保護者から「来てよかった。行かせてよかった。」と感じていただけることをモットーとしている。 看護科 5 年一貫教育では、看護師国家試験の受験資格を得るために、3 年間の看護科における学習の後、2 年間の専攻科で外部講師や実習施設等の協力を得ながら一般教養科目と看護に関する専門分野の授業を実施している。令和 4 年度までの修了生全員が、看護師国家試験に合格し、県内外の公的な医療機関等でスペシャリストとして活躍している。 生徒会主導による地域のボランティア清掃活動「さわやか隊」を年間通して実施している。		


高知県立高知工業高等学校

(全日制 機械科・電気科・情報技術科・工業化学科・土木科・建築科・総合デザイン科)

所在地	高知市棧橋通2丁目11番6号	アクセス	とさでん交通停留所	
TEL	088-831-9171		電車・バス 棧橋通二丁目	
通学方法	徒歩25名、電車37名、自転車578名、鉄道143名、バス10名、その他25名			
生徒数	機械科 116名、電気科 118名、情報技術科 116名、工業化学科 112名 土木科 119名、建築科 119名、総合デザイン科 118名 1学年276名、2学年267名、3学年275名 合計818名			
校訓 および 校章	校訓 「磨け学技、鍛えよ体徳、誇れ郷土」 <技術者の素養> 創立者、竹内綱の開校記念講演より 一つ、身体が強壮なること。 一つ、技術上の学問の素養のあること。 一つ、学問の素養と相まって、これにそっだけの実施上の手腕のあること。 一つ、上の三つの能力を発揮するに足りる人格を備えること。	校章 旧校歌の歌詞に 火頭・水身・両翼 とあるように、中央上端は火を示し、その下は水を示す。火と水は工業の基をなすものであり、さらに、左右両方の翼は世界に飛躍し工業を発展させる重大な意義がある。また、協調の意味を示すともいわれる神話のマーキュリーの杖の頂端を取り校章とし、共に助け励まし合い進歩発展させようとの偉大な意義を含む。	 (火水鳥)	
		創立111年	スクールカラー えんじ色	
沿革	M45.3.11 高知市与力町に私立高知工業学校設置の認可 M45.5.4 県公会堂において開校式を挙行(開校記念日と定まる) S17.4.8 高知市棧橋通2丁目に移転 S23.4.1 学制改革により高知県立高知工業高等学校となる S46.4.1 7学科となる H23.1.11 校訓制定 H24.11.3 創立100周年記念式典 R4.4.29 創立110周年記念式典	(沿革コメント) 本校は、明治45年に、当時の優れた実業家であり政治家であった宿毛市出身の竹内綱・明太郎先生父子によって、「工業富国基」の信念に基づいて、工業技術者養成のため県下唯一の工業教育機関(私立高知工業学校)として創立され、県内で最も歴史と伝統のある工業高校である。	 (創立者 竹内綱 書)	
基本情報	教育方針	1 基本方針 (1) 学問の研究 (2) 工業技術の習得 (3) 豊かな心身の育成 (4) 徳性の涵養	2 教育重点目標 (1) 進路保障の充実 (2) 特別活動の充実 (3) 学習指導の充実 (4) 生活指導の充実	(5) 工業教育の活性化 (6) 人権教育の充実
	進路状況	大学68名(28.2%)〈内 国公立大学19名〉短大5名(2.1%) ポリテク9名(3.7%) 専修・各種42名(17.4%) 就職県内76名(31.5%) 就職県外38名(15.8%) その他3名(1.2%) 22年連続就職内定率100%		
	部活動	体育系21部、文化系19部、同好会1部 ※第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会(測量部門)第3位 (令和4年度)土木技術部 ※第46回全日本競歩能美大会 男子高校10km競歩 第3位 第61回全日本競歩輪島大会 男子高校5km競歩 第3位		
	主な出身中学	1. 横浜中 2. 香長中 3. 高岡中 4. 潮江中 5. 城北中		
	教職員数	教員(期講及び時講含)82名、講師・実習助手5名、事務職員等8名		
学校の特徴	本校は、機械科・電気科・情報技術科・工業化学科・土木科・建築科・総合デザイン科と工業に関する基本的な全ての分野がそろい、時代の進歩、発展に応じた施設・設備を備え、生徒たちの多くは、部活動や各種資格取得、研究活動などにも積極的に取り組んでいる。 また、卒業後の進路希望に対し、それぞれの学科で学んだ専門的知識を生かした就職、あるいは、さらに高度な専門的知識や技術を身に付けるための上級学校への進学など、幅広い進路希望に対応できるカリキュラムを編成している。			

高知県立高知工業高等学校

(定時制：機械科・電気科・土木科・建築科・電気科専修コース・建築科専修コース)

所在地	高知市棧橋通2丁目11番6号	アクセス	とさでん交通 電車・バス 棧橋通二丁目
TEL	088-831-9171		
通学方法	徒歩2名、自転車15名、電車1名、バイク6名、自家用車30名、その他2名		
生徒数	機械科(9名)・電気科(17名)・土木科(11名)・建築科(7名)		合計(56名)
	電気科専修コース(3名)・建築科専修コース(9名)		
	1年次(7名)・2年次(8名)・3年次(18名)・4年次(23名)		
校訓 および 校章	校訓 「磨け学技、鍛えよ体徳、誇れ郷土」 <技術者の素養> ・一つ、身体の強壮なること。 ・一つ、技術上の学問の素養のあること。 ・一つ、学問の素養と相まって、これにそっだけの実施上の手腕のあること。 ・一つ、上の三つの能力を発揮するに足りる人格を備えること。 創立者 竹内綱氏の開港記念講演より		校章 旧校歌の歌詞に火頭・水身・両翼とあるように、中央上端は火を示し、その下は水を示す。火と水は工業の基をなすものであり、さらに、左右両方の翼は世界に飛躍し工業を発展させる重大な意義がある。また、協調の意味を示すともいわれる神話のマーキュリーの杖の頂端を取り校章とし、共に助け励まし合い進歩発展させよとの偉大な意義を含む。
			創立 111 年 (定時制としては 76 年)
沿革	S23.6.1 昼間定時制として、土木科、建築科の2科を開設 S24.4.1 機械科、電気科、工業化学科の3科を増設し、夜間定時制に変更 H9.4.1 建築科専修コースを開設 H11.3.31 工業化学科を廃止 H19.4.1 学年進行で単位制導入 R2.4.1 電気科専修コースを開設	(沿革コメント) 戦後の復興へと向かう昭和23年、新学校教育制度の施行により、全国の勤労青少年を対象に高等学校定時制通信制教育が誕生する。本校も、昭和23年に開設され、昭和24年4月の入学式では、「働きつつ学ぶと言うこの定時制こそが、新生日本の教育の本道である。」と校長式辞で結んでいる。開設76年目を迎えた伝統ある定時制工業高校である。	
基本情報	教育方針(5年度教育重点目標) 「社会人としての使命を自覚し、地場産業に貢献できる個性豊かで基本的な教養を身につけた工業技術者を育成する。」 (1) 雇用主並びに関係諸団体との連携を密にし、勤労青少年の学習権の保障と就労支援に努める。 (2) ホーム・ルーム活動を中心にし、生徒会活動・部活動・学校行事などに、積極的に参加させ、生徒の連帯感を強めるとともに豊かな心を育む。 (3) 学習意欲を高め、学力の増進に努める。 (4) 特色ある学校づくりを進める。		
	進路状況 就職県内3名(11.5%)・専修等3名(11.5%) その他(現職[正社員、アルバイト]継承者含む)20名(76.9%)		
	部活動 体育系8部、文化系4部 ・近畿橋梁模型コンテスト：「一般部門 優秀賞」「学生部門 優秀賞・人気作品賞」 ・第14回神戸市橋梁模型コンテスト：「最優秀賞」 ・高知市支部体育大会：バスケットボール「第2位」バドミントン「団体戦 第3位」「個人戦 第4位」		
	主な出身中学 1. 潮江中 2. 城東中 3. 青柳中・朝倉中・城北中 他		
	教職員数 教員(期講及び時講含)43名・事務職員等8名		
学校の特色	工業高校の定時制としては、4科2コースという県内唯一の複数学科設置校であり、希望する専門教育に対応できる学校である。専門科の特色である国家資格・検定試験に挑戦し、好結果を収めている。また、難関国家資格に現役定時制生徒として合格者を出すなど、指導体制は充実している。 工業高校ならではの「ものづくり」教育を柱に、基礎学力の定着から高い専門分野まで、生徒に応じたきめ細かい指導を行い、幅広い年齢層の生徒が充実した学校生活を送っている。 普通高校卒業生は全科3年次に編入し、専門科目の修得により2年間での卒業が可能である。また、電気・建築科専修コースは社会人のキャリアアップや生涯学習の場として、専門知識を高めたい生徒のニーズに応えるカリキュラムを編成している。		

高知県立高知追手前高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高知市追手筋 2-2-10	アクセス	JR高知駅から徒歩 15分 大橋通電停から徒歩 5分	
TEL	088-873-6141			
通学方法	徒歩 103名、自転車 590名、鉄道 217名、バス 41名、その他 92名			
生徒数	普通科 701名 1学年 234名、2学年 227名、3学年 240名			
校訓および校章	校訓 「質実剛健」「文武両道」 レオスピリット 「奮闘努力の精神」 (時計台) 	校章  <p>昭和24(1949)年12月に制定されたもので、本校の前身である高知県尋常中学校・第一中学校・城東中学校時代の、中学校の「中」の字を図案化した六稜星(「中」の字のなかに相対する一組の新月を配したものを)、本校のシンボルである銀杏6枚におきかえて、なかに「高」の字を配したものである。 -制作・昭和24年度卒 金澤彌三平-</p>	創立 145年	スクールカラー 規定なし
	沿革	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明治11年11月～明治19年9月 高知中学校時代 2. 明治19年9月～明治32年3月 高知県尋常中学校時代 3. 明治32年4月～大正11年3月 高知県及び第一中学校時代 4. 大正11年4月～昭和23年3月 高知県立高知城東中学校時代 5. 昭和23年4月～昭和24年8月 高知県立高知新制高等学校時代 6. 昭和24年8月～現在 高知県立高知追手前高等学校 	(沿革コメント) ・本校の前身校は、明治11年に設立された旧制の中学校で、濱口雄幸内閣総理大臣や寺田寅彦博士などの卒業生は、教育・政治・経済の各界はもちろん芸能・スポーツ界等あらゆる分野のリーダーとして活躍しています。 ・創立140周年記念式典(平成30年11月19日) ・追手前高校のキャラクター「追手前OO(オオ)くん」「ギンコちゃん」は、校友であるやなせたかしさんによってデザインされたものです。 	
基本情報	目指す学校像 「志が育つ学校」:「志」とは、自分だけではなく、周囲の人々をも幸せにする。そうした志が育つように、確かな学力と気概を教育の真髄とし、精選したすべての活動に情熱と意志を込める学校を、「チーム追手前」として一丸となって目指す。			
	目指す生徒像 自己と社会との関わりから自らの「志」を見出し、将来にわたって自立的、持続的に、「志」の追求と実現に取り組むことができる生徒			
	進路状況 大学 200名 (84.1%) (内 国公立大学 132名) 短大 2名 (0.8%) 専修等 9名 (3.8%) 就職県内 1名 (0.4%) 就職県外 1名 (0.4%) その他 25名 (10.5%) 【卒業生数 238名】			
	部活動 体育系 17部、文化系 19部 全校生徒の約 85% が部活動に取り組み、校訓である「文武両道」を実践しています。			
	主な出身中学 1. 附属中 2. 春野中 3. 野市中 4. 香長中 5. 愛宕中			
	教職員数 教員(期講及び時講含) 66名・実習助手 2名・事務職員等 12名			
学校の特色	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創立145年の歴史と伝統を有しています。生徒は、校訓である「質実剛健・文武両道」の伝統を受け継ぎ、勉強と部活動の両立を目指して努力しています。 ○ 一人ひとりが主体的に考え行動できる力を養うため、3年間の育成プラン(レオプロジェクト)を実施しています。 ○ 大学等への進学希望者がほぼ100%の進学校です。1年次は文理共通で各教科の基礎力を養い、2年次から文系と理系に分かれます。 ○ 教職員と生徒の意思疎通のもと、きめ細かな進路指導を行い、生徒の意欲と夢を最大限にサポートします。 ○ 2学期制により、ゆとりと活力のある学校生活を送れるように教育環境を整えています。また、生徒の意欲と教職員の高い指導力によって、質の高い授業が展開されており、全国に十分通用できる力を培っています。 			

高知県立高知追手前高等学校吾北分校
(全日制 普通科)

所在地	吾川郡いの町上八川甲 2075-1	アクセス	JR伊野駅からバス40分 思地停留所下車
TEL	088-867-2811		
通学方法	徒歩1名、自転車2名、バス19名、バイク3名、その他5名		
生徒数	普通科30名 1学年11名、2学年12名、3学年7名		
校訓 および 校章	校訓 <p style="text-align: center;">質実剛健・文武両道</p>  <p style="text-align: center;">校舎全景</p>		校章  <p style="text-align: center;">苔アートによる校章</p> <p>校章は昭和24(1949)年12月に制定されたもので、本校の前身である高知県尋常中学校・第一中学校・城東中学校時代の、中学校の「中」の字を図案化した六稜星(「中」の字のなかに相対する一組の新月を配したものを、本校のシンボルである銀杏6枚におきかえて、なかに「高」の字を配したものである(学校要覧より)。</p> <p style="text-align: right;">—制作・昭和24年度卒 金沢弥三平—</p>
	創立 72 年 スクールカラー グリーン		
沿革	S26 高知追手前高等学校上八川分校 (昼間定時制)として設置 S45 全日制の課程を置く (定時制募集停止) S59 現在地に新校舎が完成し、現在に至る R03 創立70周年記念式典	(沿革コメント) 卒業生のピークは昭和52年度の47名で、平成2年度も41名が卒業している。その後、卒業生は減少傾向で、近年は10名前後で推移している。令和4年度までの卒業生は、男子875名、女子863名で、合計1,738名を送り出している。	
基本情報	教育方針 地域・家庭との連携を密にとり、学校行事・体験学習を通して心豊かな人間性を育み、「将来地域社会に貢献できる生徒の育成」を目指しています。 小規模校の特徴を生かし、全教職員が、一人ひとりの生徒を大切に見守り、個々の成長を手厚く支援し、卒業生の進路実現を図ります。 教育重点目標 (1)人間尊重の精神の育成(2)学力・体力の向上(3)自主性・積極性の涵養 (4)自律ある生活の確立 (5)環境の美化(環境保護の精神を養成)		
	進路状況 ・大学2名(20.0%)<高知大学、高知リハビリテーション専門職大学>・専修学校等5名(50.0%) ・就職(県内)2名(20.0%)<県外>1名(10.0%) 【卒業生数10名】		
	部活動 体育系2部、文化系3部 男子ソフトボール部、男女バドミントン部 ※バドミントン部男子 県高校春季大会 シングルス部 3位、ダブルスの部 3位 清流太鼓部、軽音楽部、英語部		
	主な出身中学 1. 伊野中 2. 吾北中 3. 本川中、神谷中 5. 池川中、西部中、土佐山学舎、行川学園		
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)18名・実習助手1名・事務職員等3名・ALT1名		
	○小規模校の特性を生かして、個々の成長を手厚く支援し、学力を定着させ、全生徒の進路実現を図ります。 ○ICTを活用して個々の進度に合わせた学習環境を整えています。 ○遠隔機器を活用して分校の教室で、高知追手前高校本校の先生が担当する教科や、高知県教育センターから配信される教科を、遠隔授業として受けることができます。また、教育センターからの進学補習、公務員補習も受講可能です。 ○部活動を通して挨拶や時間厳守などの社会性を身に付けるとともに、人間関係の構築や友達を思いやる心を育成します。 ○2年生からは、教養型と生活環境型の2つのコースに分かれます。教養型は、進学に対応した科目を学習します。また、生活環境型では、普通教科に加えて衣食住を総合的に学習し、栽培実習等を通じて勤労精神を養い、社会で活躍することができる人材を育成します。 ○地域・家庭との連携を密にとり、学校行事・総合的な探究の時間(土佐和紙学習・吾北清流太鼓)等を通して心豊かな人間性を育てています。		

高知県立高知丸の内高等学校
(全日制 単位制普通科・学年制音楽科)

所在地	高知市丸ノ内2丁目2番40号	アクセス	JR高知駅から徒歩20分
TEL	088-873-4291		
通学方法	徒歩9名、自転車244名、鉄道125名、バス26名、電車29名、その他43名		
生徒数	普通科432名、音楽科44名 1年次159名、2年次158名・3年次159名 合計476名		
校訓および校章	「夢の実現 ～Dreams Come True～」	校章	 <p>三方にのびるペン 先は、知・徳・体の 健やかな伸長と学問 の尊重・発展を願ひ そのもとの部分は、統合五校の男女生 徒の団結、協力和合をあらわし、丸は 円満な成長と校名を表現したもので ある。 (昭和24年制定 山本開生 作)</p>
	 正門付近	創立137年	スクールカラー 紺
沿革	M20 高知県尋常中学校女子部として開校 M34 高知県立高等女学校と改称 T15 高知県立高知第一高等女学校と改称 S24 高知県立高知丸の内高等学校と改称 男女共学となる S42 入試要項で女子のみの募集となる S44 音楽科新設 H17 男女共学による全日制的単位制普通 科及び学年制音楽科に改編 H28 創立130周年記念式典及び行事 R01 音楽科50周年記念式典及び記念音 楽会	(沿革コメント) 明治20年に高知県最初の女学校である高知 県尋常中学校女子部として開校する。以来、一 時期の男女共学の時代を経て、その歴史の大半 は高知県女子教育の中核を担う。普通科に家政 科や本県唯一の音楽科を併設し、普通教育のみ ならず、産業・芸術といった専門分野の教育も 行ってきた。平成17年に単位制による全日制 普通科と学年制による全日制音楽科を併設し た学校へ改編されるとともに、37年ぶりに男 女共学となった。	
基本情報	教育方針 社会の形成者として必要な資質をもち、日常のあらゆる場面での凡事を徹底することによつて、心身ともに健康で、豊かな人間性と想像性を備えた人間を育成する。 生徒一人ひとりの夢の実現のために、個に応じた支援に努め、充実した学校生活を提供する。		
	進路状況 ・大学 76名 (51.0%) (内 国公立大学23名) ・短大22名 (14.8%) ・専修等37名 (24.8%)・就職県内9名 (6.0%) (内公務員4名)・その他5名 (3.4%)		
	部活動 体育系11部、文化系16部 ・第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022) 吹奏楽部門出場 ・令和3年度 カヌー部：四国大会出場、令和4年度 女子ソフトボール部：インターハイ出場 令和4年度 バレーボール部：栃木国体ビーチバレーボールの部出場		
	主な出身中学 1.旭中 2.城北中、香長中 3.愛宕中、城東中 4.西部中 5.野市中		
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)77名、実習助手 2名、事務職員等 12名		
	<p>多様な生徒のニーズや大学等への進学に必要な学力等を向上させるため、学習・部活動・学校行事を通して、生涯にわたって「学び続ける」姿勢と基盤をつくります。そのために社会で必要な力である、論理的に「聴く」・「書く」・「伝える」論理コミュニケーション力を育成し、「夢の実現」に向かう、知・徳・体の学力向上(進路保障)を実践します。</p> <p>◆【普通科】全日制単位制の特色を生かしたカリキュラムを通し教育活動の充実に取り組みます。 ★自分の興味・関心、進路等に最も適した教科・科目を選択して学習することができます。 ★多くの科目を開設し、少人数の授業を実施することにより、きめ細かな指導ができます。 ★高大高専連携授業により、単位が認定されます。 ★慶応義塾大学SFCとの遠隔授業を実施しています。</p> <p>◆【音楽科】専門的な知識、技能を伸ばす取組等を通して、豊かな人間性と創造性を備えた生徒の育成に取り組みます。 ★専攻別(声楽・器楽)の実技レッスンのほか、音楽史や音楽理論、ソルフェージュなどの専門科目を学習することができます。 ★音楽大学による出張講座や大学訪問(高大連携)、コンクールへの出場、音楽科体験レッスン(小5～中3対象)、地域からの依頼演奏(地域社会への貢献)などに取り組んでいます。 ★毎年秋には、定期演奏会を開催します。</p>		


高知県立高知小津高等学校

(全日制 普通科・理数科)



所在地	高知市城北町1-14	アクセス	JR入明・円行寺駅から徒歩約10分 升形電停から徒歩約15分
TEL	088-822-5270		
通学方法	徒歩16名、自転車454名、鉄道247名、電車21名、バス38名、他27名		
生徒数	普通科(706名)・理数科(97名) 合計(803名) 1学年(253名)・2学年(278名)・3学年(272名)		
校訓 および 校章	校訓 自律 協同 誠実		校章  平和のシンボル「若鳩」が三羽、頭を中心に集まっている形をデザインしたものの。  シンボルキャラクター「おーづ君」
	 	創立 150年	スクールカラー 紫
沿革	M 6 海南私塾創立(東京日本橋) M 9 海南私塾分校を高知市に設立 M13 九反田旧開成館跡に移転 M17 海南学校と改称 S 7 現在地に移転、校舎完成 S24 高知県立高知小津高等学校と改称 S43 理数科開設 H11 新校舎落成 H14 S S H第1期指定 H19 S S H第2期指定 H24 S S H第3期指定 H29 S S H第4期指定 R 5 創立150周年	(沿革コメント) 明治6年に山内豊範が、東京日本橋箱崎山内家邸内に海南私塾を開校する。明治9年に高知市散田に海南私塾分校を設立し、明治13年九反田の開成館に移転する。明治17年に海南学校と改称し、昭和7年に現在地に移転、ネオゴシック様式の校舎が落成する。昭和24年に高知小津高等学校と改称し、昭和43年に理数科を開設する。平成11年に新校舎が落成し、平成14年からスーパーサイエンスハイスクール(S S H)に指定される。	
基本情報	教育方針 和して学び自律して歩む 高等学校教育の目的を踏まえ、次の3点を実行できる生徒の育成を目指す。 自律 自分でよく考え、正しく行動する。 協同 互いに心をあわせ、協力する。 誠実 己にうちかち、まことであらぬ。		
	進路状況 ・大学203名(76.3%)〈内 国公立大学101名〉 ・短大7名(2.6%) ・専修学校等46名(17.3%) ・就職10名(内、県内7名)(3.8%) ※合格者数については、国公立大学:105名、就職:14名(内、公務員13名)		
	部活動 体育系:21部、文化系:19部、同好会:3部 ■令和4年度 県体育大会(及び四国大会)の結果 <<全国大会出場>>卓球部〔男子〕個人、陸上競技部〔男子・女子〕個人 フェンシング〔男子〕個人 <<四国大会出場>>卓球部〔男子・女子〕、陸上競技部〔男子・女子〕 ソフトテニス部〔男子・女子〕、剣道部〔女子〕、弓道〔女子〕 ライフル部〔男子・女子〕、水泳同好会〔男子〕、フェンシング〔男子〕 ■第46回全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきょう総文2022)へ出場 書道部、音楽部、吹奏楽部、将棋囲碁、新聞部		
	主な出身中学 1. 附属中 2. 香長中 3. 野市中 4. 愛宕中 5. 一宮中		
学校の特色	教職員数 教員(期講及び時講含む)73名・実習助手2名・事務職員等12名		
	創立150年の歴史と伝統をもち、充実した施設設備を活用して、第3期高知県教育振興基本計画に基づき、県のリーダー的な高等学校として文武両道の質の高い教育を実現し、生徒、保護者等、地域、県民の本校教育に対する期待に応える学校を目指す。 毎日の50分7限の授業や土曜日及び長期休業中の補習を通して、基礎学力の定着及び応用力の向上を目指し、現役で国公立大学に合格できる学力を身に付ける。 部活動には、文化系・体育系合わせて約88%の生徒が加入し、限られた練習時間の中で日々熱心に取り組み、各種大会での上位入賞を果たしている。 県内で唯一の理数科では、文部科学省による「スーパーサイエンスハイスクール(S S H)」の指定を平成14年度から令和3年度まで20年間、4期連続で受け、大学や研究機関と連携し、新たな理数教育カリキュラムの研究開発を行い、理数系の有望な人材育成を目指してきた。さらに、第4期からは、普通科においても「高知県の地域課題」をテーマに課題研究に取り組んでいる。		

(令和5年5月1日現在)

高知県立高知北高等学校
(定時制 【多部制単位制昼間部】 普通科)

所在地	高知市東石立町160番地	アクセス	電車一上町2丁目電停または 上町5丁目電停から南へ徒歩10分
TEL	088-832-2182		
通学方法	徒歩19名、自転車115名、鉄道3名、電車10名、バス4名、バイク2名、その他10名		
生徒数	普通科163名 1年次50名、2年次62名、3・4年次51名		
校訓 および 校章	校訓 自由 真理 友愛 不撓 「自分基準で学べる昼間部」  校舎正門入口付近	校章  北の文字を翼形に、下方に鏡川の清流を配して「S(スクール)」文字を構成し、これを抱き合わせて、清純で平和な学園を象徴するとともに、輝く希望が未来に向かってたくましくはばたくという構図(制作者:塩田晴一氏)	創立51年 スクールカラーなし
	沿革	S47 高知県立高知北高等学校として発足(定時制夜間部・通信制) H3 定時制課程に昼間部普通科を設置 H14 創立30周年記念式典挙行 R4 創立50周年記念式典挙行	(沿革コメント) 平成3年県内唯一の単位制定時制(昼間部・夜間部)・通信制の単独高校として改編。鏡川南河畔。 定時制夜間部は4年卒が原則だが、3年卒も可能である。また、通信制も3年卒が可能である。定時制昼間部は3年卒を原則としている。
基本情報	教育方針 「日本一あったかな学校づくり」を目指し、目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる環境づくりと学力向上に努める。 (1) 豊かな心を育む教育の推進【①教育相談体制の充実、②自主活動の育成・活性化】 (2) 学習意欲の向上【③教育環境の整備、④基礎学力の定着・向上】 (3) 進路保障の充実【⑤基本的生活習慣の確立、⑥進路保障の体制の強化】		
	教育目標 1. 基礎学力の定着と学習意欲の向上 2. 規則正しい生活習慣の確立 3. 教育相談の充実 4. 進路指導の充実 5. 教育環境の充実 6. 人権教育の充実		
	進路状況 ・大学、短大 7名(12.7%) ・専修等 12名(21.8%)・就職県内12名(21.8%)・就職県外1名(1.8%) ・その他 23名(41.8%)		
	部活動 体育系 バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、陸上、剣道、卓球 文化系 音楽、華道、英語、茶道、美術、マンガ、軽音楽、パソコン、絵本愛好会、書道 炊家、将棋、アドベンチャー研究会、演劇研究会、ダンス、写真 活動実績 令和4年度全国大会出場:バドミントン部(男・女)		
主な出身中学 1. 城西 2. 一宮、西部 3. 城北 4. 朝倉、潮江			
教職員数 教員(期講及び時講含)41名・実習助手1名・事務職員等3名			
学校の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間での卒業を原則とする。 ・単位制高校として、多様な選択科目を設定することにより、生徒一人ひとりの個性の伸長と進路希望の実現をめざす。 ・本校昼間部・夜間部、通信制の生徒が課程を超えて学ぶことができる共通講座や幅広い教養と豊かな人間性を育むことを目標に社会人とともに学ぶ特別講座などを設けている。 ・教育相談担当者を中心にスクールカウンセラーや医師による子どものこころ診療医などを配置し、個別支援体制が充実している。 ・特別な支援を必要とする生徒への教育の充実を進めています。令和2年度より個々の生徒に応じた指導を充実させるために、特別な教育課程(自立活動)を導入しています。 		

高知県立高知北高等学校
(定時制 [多部制単位制夜間部] 普通科)

所在地	高知市東石立町160番地	アクセス	電車-上町2丁目電停または 上町5丁目電停から南へ徒歩10分
TEL	088-832-2182		
通学方法	自転車29名、バイク2名、乗用車7名、徒歩2名		
生徒数	普通科(40名) 1年次生(12名)・2年次生(11名)・3年次生(9名)・4年次生(8名)		
校訓および校章	校是 自由 真理 友愛 不撓 運動場からの校舎夜景と キャッチフレーズ 		校章  北の文字を翼形に、下方に鏡川の清流を配してS(スクール)文字を構成し、これを抱き合わせて、清純で平和な学園を象徴するとともに、輝く希望が未来に向かってたくましくはばたくという構図(制作者:塩田晴一氏)
			創立51年 スクールカラーなし
沿革	S47 高知県立高知北高等学校として発足。定時制(夜間部:普通科と衛生看護科)及び通信制の課程。 H3 定時制課程に昼間部普通科を設置。 H14 創立30周年記念式典挙行 H31 衛生看護科閉科 R4 創立50周年記念式典挙行		(沿革コメント) 平成3年に、県内唯一の単位制定時制(昼間部・夜間部)・通信制の単独高校として改編。鏡川南河畔。 定時制夜間部は4年卒を原則としているが、3修制であり、3年での卒業も可能である。
基本情報	教育方針 多様な生徒を受け入れ、一人ひとりの状況に応じた支援をすることで、社会の形成者となる生徒を育てる。→「日本一あったかい学校」 ①環境を整える ②基礎力を身に付ける ③社会の形成者として育てる 教育重点目標 ①生徒支援体制の確立 ②若者サポートステーションとの連携 ③授業改善 ④社会人としての基礎力 ⑤進路保障 ⑥生徒の自主活動の推進		
	進路状況 専修各種学校5名(45.5%)、就職県内3名(27.3%)、就職県外1名(9.0%)、その他2名(18.2%) 希望進路の実現に向けて若者サポートステーションやジョブカフェと連携を行っている。		
	部活動 体育系:6部(サッカー部、バドミントン部、陸上部、バスケットボール部、剣道部、卓球部) 文化系:6部(美術部、書道部、音楽部、写真部、映画研究部、パソコン部) 活動実績:令和2年度高知支部定時制通信制高等学校体育大会 バスケットボール(男子:準優勝)・バドミントン部(女子個人:第4位)		
	主な出身中学 1 朝倉 2 西部 3 城北 三里		
	教職員数 教員(期講及び時講合)20名・実習助手1名・事務職員等2名		
学校の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間での卒業を基本としているが、定通併修等により3年間での卒業も可能。 ・単位制高校として、多様な選択科目を設定することにより、生徒一人ひとりの個性の伸長と進路希望の実現をめざしている。 ・本校夜間部、昼間部、通信制の生徒が課程を超えて学ぶことができる共通講座や幅広い教養と豊かな人間性を育むことを目標に社会人とともに学ぶ特別講座などを設定している。 ・教育相談担当者を中心にスクールカウンセラーや子ども心ころ診療医、スクールソーシャルワーカーなどを配置し、個別支援体制が充実している。 ・岡山県鳥城高校と姉妹校提携し、毎年リーダー研修等の交流を行っている。 ・卒業生を招へいし、「夜間部を語る会」を毎年生徒が運営、開催している。 		

高知県立高知北高等学校
(通信制 普通科)

所在地	高知市東石立町160番地	アクセス	電車一上町2丁目電停または 上町5丁目電停から南へ徒歩10分
TEL	088-832-2182		
通学方法	調査なし		
生徒数	普通科(305名)		
校訓および校章	校訓 自由 真理 友愛 不撓 自己の可能性を極める  校舎正門入り口付近	校章  北の文字を翼形に、下方に鏡川の清流を配してS(スクール)文字を構成し、これを抱き合わせて、清純で平和な学園を象徴するとともに、輝く希望が未来に向かってたくましくはばたくという構図(制作者:塩田晴一氏)	創立51年
	スクールカラー なし		
沿革	S47 高知県立高知北高等学校とし発足(定時制夜間部・通信制) H3 定時制課程に昼間部普通科を設置 H14 創立30周年記念式典挙行 R4 創立50周年記念式典挙行	(沿革コメント) 平成3年県内唯一の単位制定時制(昼間部・夜間部)・通信制の単独高校に改編。 鏡川南河畔。 定時制夜間部は4年卒を原則とするが、3年卒も可能である。また、定時制昼間部は3年卒を原則としている。 通信制は3年卒も可能。	
基本情報	教育方針 多様な生徒を受け入れ、一人ひとりの状況に応じた支援をすることで、社会の形成者となる生徒を育てる。→ 日本一あったかい学校 ①環境を整える ②基礎力を身に付ける ③社会の形成者として育てる 教育目標 ◆生徒が安心して学校生活を送れる環境を整える。◆生徒一人一人が人間として尊重され、その特性に応じて合理的配慮・支援がなされている。◆生徒がそれぞれの得意分野で活躍できるシステムがある。 ◆それぞれが希望する進路を実現するため、学習意欲の向上を図りつつ、基礎基本となる学力を習得する。 ◆規律や礼儀を守り、社会の一員としての自覚と責任を持った行動ができる。 ◆全ての生徒が、自ら希望する進路を実現する。◆自分自身の良いところを見つけ、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方をしていく力を身に付ける。		
	進路状況 大学5名(7.6%) 短大2名(3.0%) 専修学校等6名(9.1%) 就職県内6名(9.1%) 就職県外0名(0.0%) その他47名(71.2%)		
	部活動 美術部		
	主な出身中学 高知市内の中学校		
教職員数 教員(期講及び添削含)27名・事務職員等3名			
学校の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・学習は、レポート提出と添削指導、また、週に1日(日・水より選択)のスクーリング(面接指導)、定期試験が基本です。 ・単位制高校ですので自分のペースで学習することができます。 ・学習内容や卒業資格は、基本的に全日制課程や定時制課程と同じです。 ・生徒は、課程(3課程:昼間部・夜間部・通信制)を超えて、共通講座や特別講座で学ぶことができます。 ・特別支援教育体制の充実(ハートフル・ドア等校内外の関係機関との連携)により、生徒や保護者への支援を行っています。 		

高知県立高知国際高等学校
(全日制 普通科・グローバル科)

所在地	高知市鴨部2丁目5番70号	アクセス	JR 旭・高知商業前・朝倉駅から徒歩約15分 電車・バス「鴨部」から徒歩6分
TEL	088-844-1221		
通学方法	徒歩21名、自転車525名、鉄道172名、電車52名、バス11名、その他28名		
生徒数	普通科(595名)・グローバル科(214名〔探究コース174名、DPコース40名〕) 1学年(276名)・2学年(265名)・3学年(268名) 合計(809名)		
校訓および校章	校訓 「進取貫徹」 自ら進んで物事に取り組む進取の精神と粘り強く最後まで取り組む貫徹精神で心豊かなグローバル人材の育成を目指します。	校章  <p>K:「高知」「国際」の「K」。 羽ペン:未来・世界へと羽ばたいて行く。 リボン:生徒の姿を地域・保護者・教職員でやさしく包み込み、サポートする。 ・中学校と高等学校、統一のデザイン。 ・単色で表現することにより流行に左右されず、性別に関わらず、全ての生徒を受け入れる未来志向を表す。</p>	
		創立 令和3年	スクールカラー 「青」
沿革	H29. 7 高知県立高知国際中学校及び高知県立高知国際高等学校が設置される。(高知県条例) R 2.11 国際バカロレア機構からMYP認定校に認定される。 R 3. 1 国際バカロレア機構からDP認定校に認定される。 R 3. 4 高知県立高知国際高等学校開校式を挙げる。 R 5. 4 高知南高等学校と高知西高等学校の高知国際高等学校への統合完了。	(沿革コメント) 令和3年4月に、高知南高等学校と高知西高等学校の統合校として、新たに高知国際高等学校が開校しました。令和5年4月に全学年生徒がそろい統合完了しました。 「舞台は、地球。Think Globally, Act Locally」を合言葉に、「本県のグローバル教育のトップ校」、「大学進学の出発点校」を目指します。	
基本情報	教育目標 グローバル社会で求められる高い志と、資質・能力を育む 1 自ら学び、考える力を身に付け、生涯にわたって学び続ける態度を養う。 2 多様な価値観を尊ぶ精神を持ち、他者とともに生きる態度を養う。 3 豊かな創造性を持ち、未来を切り開く、自主・自立の精神を養う。		
	進路状況 まだ実績はないですが、国内国公立大学・私立大学や海外大学への進学を視野に入れていきます。一人ひとりの希望進路の実現を目指しています。		
	部活動 体育系21部、文化系12部 第101回全国高校サッカー選手権大会高知県大会 第3位 第46回全国高等学校総合文化祭とうきょう総文2022吹奏楽部門に県選抜楽団として出場 令和4年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技学校対抗戦ベスト8(南・国際合同) 第74回全国学生書道展 全日本書道連盟賞 1名		
	主な出身中学 1. 高知国際中 2. 高知南中 3. 西部中 4. 朝倉中 5. 高岡中		
教職員数 教員(期講及び時講含)87名・実習助手 3名・事務職員等 5名			
学校の特色	高知国際高等学校は、グローバル教育を教育活動の柱に位置付け、自ら課題を発見し判断する探究型学習や、高度な英語運用能力を養う教育活動を実施します。国際バカロレア教育のプログラムを取り入れるなど、本県のグローバル教育を牽引する中心的な学校を目指しています。「舞台は、地球。Think Globally, Act Locally」を合言葉に、他者を思いやる心と積極的に学び続ける態度で、思考する力、コミュニケーション力、リサーチ力、自己管理力、社会性等を身に付けます。そして、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、よりよい平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者を育てます。		

高知県立伊野商業高等学校
(全日制 単位制 キャリアビジネス科)

所在地	吾川郡いの町332番地1	アクセス	JR枝川駅から徒歩5分 とさでん交通枝川電停から徒歩7分
TEL	088-892-0548		
通学方法	徒歩6名、自転車93名、鉄道157名、電車23名、その他26名		
生徒数	商業に関する学科 キャリアビジネス科305名 1年次109名、2年次100名、3年次96名		
校訓および校章	<p>校是 「悔ゆるなき今日を励めば」 校歌の一節、「励めば」という接続の形から、自然にそれに続く歌詞「ああ青春の日々新たなり」を思い起こすことを願った第1期生が選んだ言葉で、後輩へのエール。</p>  <p style="text-align: center;">校舎玄関付近</p>	<p>校章 伊野商業高校の“いの”を図案化したものであり、四方の尖端は本校の発展と卒業生の社会への貢献の広がりを象徴しています。 地色は濃紺で、若さと和合を、“いの”は金色で、優れた知識・技能と洗練された品位・情操を備えた豊かさを、商は白色で、誠実で信義のある特性をそれぞれ象徴しています。(筒井広道選定)</p> 	
			<p>創立60年 スクールカラー 濃紺 若さと和合を象徴しています。</p>
沿革	S38 高知県立伊野商業高等学校として開校	<p>(沿革コメント) 産業教育審議会からの商業教育の充実の建議を得、また、産業教育の戦後のベビーブームによる生徒数急増もあって、地元北内地区の強い要望により商業科高校を設置し開校しました。 本校の設立時の設備は、全国的にも例を見ない画期的なものであり、後の文部省の設置基準にも取り入れられました。 平成24年度に、単位制・コース制に学科改編し、多様なビジネス教育に取り組んでいます。</p>	
	S46 情報処理科開設		
	S60 第57回全国選抜高等学校野球大会優勝		
	H6 商業科を、流通ビジネス科、国際観光科、情報デザイン科、ビジネス会計科の4小学科に改編		
	H14 流通ビジネス科を、メディアクリエート科に改編		
H24 商業科5小学科をキャリアビジネス科1小学科に改編			
H25 創立50周年記念式典の実施			
基本情報	<p>教育方針 産業人としての高い理想と優れた知識・技能を持ち、社会に貢献する有能な人物を育成する。 1 人権教育、道徳教育を推進し、豊かな心と相互扶助の精神を養う。 2 学力の向上に努め、進路を保障する。 3 心身の健全な発達を促し、あらゆる困難に立ち向かうための生きる力を培う。</p>		
	<p>進路状況 大学23名(20.5%) 短大3名(2.7%) 専修等59名(52.7%) 就職県内18名(16.1%) 就職県外3名(2.7%) その他6名(5.4%)</p>		
	<p>部活動 体育系 9部、文化系 11部</p>		
	<p>主な出身中学 1. 旭中 2. 朝倉中 3. 伊野中 4. 西部中 5. 城西中</p>		
	<p>教職員数 教員(期講及び時講含)51名、実習助手1名、事務職員等14名</p>		
学校の特色	<p>本校は、県内唯一の県立商業高校として、今年で60年の歴史を刻み、県内外に有為な人材を輩出してきました。平成24年度には、本校が培ってきた小学科制教育の特色を生かしながら、全国的にも類を見ない単位制・コース制の学科「キャリアビジネス科」に改編しました。 本校の特色は、キャリア教育を基盤としたビジネス教育であり、また、インターンシップ、就業訓練や伊野商デパートの体験活動にも重点をおいています。このことにより、将来の進路や職業選択を含めた、それぞれの『生き方』について、実体験をとおした学習や、自己の進路についての自覚を深めることができると考えています。 教育課程は、2年次から将来の希望に応じた4つのコース(ビジネス、ツーリズム、ICT、デザイン)に分かれて、多様な科目群から選択して学習できるようになっています。このことにより、それぞれの個性を生かし、主体的に柔軟な学習が可能となります。 また、それぞれのコースの特性に応じた、高度な資格・検定取得にも力を入れており、その成果を活かした就職や進学を目指しています。</p>		



高知県立 春野高等学校
(全日制 総合学科)

所在地	高知市春野町弘岡下3860番地	アクセス	とさでん交通 高樋川バス停から 徒歩約7分(約600m)
TEL	088-894-2308		
通学方法	徒歩2名、自転車367名、バス7名、その他11名		
生徒数	総合学科(387名) 1年次(132)名・2年次(139)名・3年次(116)名		
校訓 および 校章	校訓 なすことによつて学ぶ  春野高等学校「花時計」		校章  平成18年、高知園芸高等学校を春野高等学校に改め、総合学科に改編される。 校章は、春野の「H」の中に、春野町の花のあじさいをデザインしたものの。
	創立 116年	スクールカラー 緑	
沿革	(沿革コメント) 明治41年に弘岡実践女学校として春野の地に開校して以来、幾度かの変遷を重ねながらも1万余名の卒業生を社会に送り出し、本年度で116年目の年を迎える。 平成18年度に高知園芸高校から春野高校へと校名を変更し、農業教育を生かした総合学科に改編され18年目を迎えている。		
基本情報	教育方針 総合学科の特性を活かした実践的な学習を通して、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図り、地域社会の発展に貢献できる人物を育成する。		
	本年度の教育目標 (1)基礎学力の定着と学力の向上 (2)基本的生活習慣の確立 (3)進路保障		
	進路状況 ・大学15名(15.8%)・短大8名(8.4%) ・専修等45名(47.4%)・就職県内21名(22.1%)・就職県外2名(2.1%) ・その他4名(4.2%)		
	部活動 体育系9部、文化系12部、同好会2部 【体育系】 ソフトテニス部、バレーボール部、ソフトボール部、バスケットボール部、サッカー部、弓道部、ビームライフル部、剣道部、バドミントン部、水泳同好会 【文化系】 茶道部、華道部、写真部、放送部、美術部、文芸部、漫画研究部、演劇部、クッキング部、書道部、音楽部、科学部、歴史同好会		
主な出身中学 1. 西部 2. 朝倉 3. 高岡 4. 春野 5. 横浜			
教職員数 教員(期講及び時講含)43名・実習助手8名・事務職員等11名(ALT、就職アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー 各1名)			
学校の特色	○生徒の興味・関心、適性、進路希望に応じた科目が選択でき、自主的・主体的に学ぶことができます。 ○進路相談や進路ガイダンスを充実させ、生徒一人ひとりにきめ細やかで適切な進路指導を行います。 ○さまざまな体験活動を通して、生徒の豊かな心を育みます。 ○地域、大学等の連携をすすめ、幅広い学習活動を展開します。 進路希望の実現を学校目標に掲げ、進路未定者を出さない取り組みを進めています。総合学科の特性を生かし、幅広い進学・就職先を展開しています。高知大学や高知県立大学など、国公立大学への進学者も出しています。 また、資格取得では、実用英語検定や情報処理技能検定、高校家庭科技術検定、小型建設機械類運転資格など幅広い資格・検定の取得実績があります。		



高知県立高岡高等学校
(全日制 普通科)

所在地	土佐市高岡町甲2200	アクセス	とさでん交通高岡高校前バス停から徒歩1分
TEL	088-852-1168		
通学方法	徒歩8名、自転車43名、バス13名、その他20名		
生徒数	普通科 1年次(23名)・2年次(29名)・3年次(32名) 合計(84名)		
校訓および校章	校訓  熱意：高い目標を持ち、一生懸命取り組む 創意：自ら考え、新しいものを創り出す 誠意：正直で、人を思いやる心をもつ		校章  若葉3枚を配し、鏡をバックに若芽つる3本で構成。鏡を入れることで、男女共学を意味し、ともに切磋琢磨しながら社会人になることを願う。若葉は、所在地藤並町の藤からとっている。
	創立 77年	スクールカラー 紫紺	
沿革	S21 高知県立高岡中学校、同高等女学校設立 S23 高知県立高岡高等学校、同併設中学校に改称、定時制課程併置、宇佐町及び戸波村に分校 S25 定時制夜間課程、本校に設置 S48 戸波分校閉校 H11 宇佐分校(全・定)閉校 H23 本館耐震補強改修 H25 体育館改築 H29 全日制・単位制に改編	(沿革コメント) 昭和21年、高岡町外6ヶ村組合立高岡高等小学校同組合青年学校を解散し、高岡中学校、同高等女学校として設立する。 昭和23年、高岡高等学校、同併設中学校と改称し、定時制課程を併置。同年、宇佐町と戸波村に分校を設立するが、昭和48年に戸波分校、平成11年に宇佐分校が閉校となる。 平成6年にはエレベーター棟が完成し、平成12年に食堂及び格技場棟の改築が完成する。	
基本情報	教育方針 土佐市唯一の普通高校として、小規模校の特性を生かして、一人一人の生徒の能力や個性の伸長を図り、生涯にわたって「自己実現できる基礎」を培う。将来、社会人として自立するとともに、社会や地域の発展に貢献できる人材を育成する。 教育重点目標は、次のとおり。 (1) 多様化した生徒の理解と支援 (2) 学力の向上 (3) キャリア教育「軌」の充実 (4) 人権教育の推進 (5) 教員の資質・指導力の向上		
	進路状況 ・大学 2名(11.1%) ・未定 2名(11.1%) (令和4年度) ・専修等 11名(61.1%) ・就職県内 3名(16.7%)		
	部活動 体育系5部(野球、陸上、弓道、レスリング、バドミントン) 文化系6部(美術、放送、書道、写真、軽音楽、華道)		
	主な出身中学 1.高岡中 2.伊野中 3.土佐南中 春野中 西部中 横浜中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)27名・事務職員等8名		
学校の特色	○土佐市、唯一の普通高校である。単位制高校としてキャリア教育を推進している。 ○小規模校の特性を生かし、全ての教職員が一人一人の生徒を見守り、個々の成長を手厚く支援し、学力の定着と全生徒の進路実現を図っている。 ○毎朝、取り組むデイリートレーニングと金曜日に行うウィークリーテスト(確認テスト)による学び直しに取り組んでいる。 ○教育センターと本校をつないで行う遠隔教育システムによる授業や補習・講演を行うとともに、一人1台のタブレットを使用しICTを活用した取り組みをすすめていく。 ○特別支援教育コーディネーターを中心に、SC・SSW等の連携により、悩みや相談に対処できるよう、個別支援体制を充実させている。 ○生徒が、小中学校に出向いて防犯を訴える「ふれあい出前非行防止教室」や、「清掃ボランティア」など地域に貢献するさまざまな活動をとおして、生徒の豊かな心を育む。		

高知県立高岡高等学校
(定時制 普通科)

所在地	土佐市高岡町甲 2 2 0 0	アクセス	とさでん交通高岡高校前バス停から徒歩 1 分
T E L	0 8 8 - 8 5 2 - 1 1 6 8		
通学方法	自転車 7 名、バイク 1 名、自家用車 4 名、 その他 4 名		
生徒数	普通科 1 6 名 (1 年次 6 名、2 年次 2 名、3 年次 3 名、4 年次 5 名)		
校訓 および 校章	校訓  熱意：高い目標を持ち、一生懸命取り組む 創意：自ら考え、新しいものを創り出す 誠意：正直で、人を思いやる心をもつ		校章  若葉 3 枚を配し、鏡をバックに若芽つる 3 本で構成。鏡を入れることで、男女共学を意味し、ともに切磋琢磨しながら社会人になることを願う。若葉は、所在地藤並町の藤からとっている。
			創立 7 7 年
沿革	S 21 高知県立高岡中学校、同高等女学校設立 S 23 高知県立高岡高等学校、同併設中学校に改称、定時制課程併置、宇佐町及び戸波村に分校 S 25 夜間部設置認可、授業その他は全日制教員が兼務 H 19 単位制に改編 H 26 三修制本格実施 H 28 聴講制度開始		(沿革コメント) 昭和 2 1 年、高岡町外 6 ヶ村組合立高岡高等学校同組合青年学校を解散し、高岡中学校、同高等女学校として設立する。 昭和 2 3 年、高岡高等学校、同併設中学校と改称し、定時制課程を併置。同年、宇佐町と戸波村に分校を設立するが、昭和 4 8 年に戸波分校、平成 1 1 年に宇佐分校が閉校となる。 平成 1 9 年から単位制に移行し、平成 2 6 年から三修制が本格実施となる。
基本情報	教育方針 生徒に生きる力(確かな学力・豊かな人間性・健康な心と体)と自分の人生を切り開いていく力をつけ、地域や社会の一員として自立し、貢献できる人材を育成する。 (1) 基礎学力の向上 (2) 基本的生活態度の育成 (3) 進路希望の実現 (4) 生徒理解と支援 (5) 人権教育の推進		
	進路状況 令和 4 年度の卒業生は 1 名。		
	部活動 バドミントン・卓球・文化部		
	主な出身中学 高岡中 伊野中 春野中 潮江中 教職員数 教員(期講を含む) 9 名・事務職員 1 名・給食パート職員 3 名		
学校の特色	○土佐市で唯一の夜間定時制高校である。通学地域は広く、土佐市、いの町、高知市から通学している。 ○3 年での卒業ができるよう、0 限授業・定通併修・学外の学修や技能審査の単位認定・実務代替等の制度を構えている。 ○様々な課題を抱える生徒に対応できるよう、スクールカウンセラーを配置して教育相談体制をとっている。また、特別な支援が必要な生徒に対する細やかな指導を目指している。 ○教育活動の中心にキャリア教育をすえ、外部講師を招いての講演から進路に対する意識の向上を図りつつ知識を獲得し、進路実現につなげている。 ○スポーツ大会や遠足等の学校行事を通じて、学校生活へのスムーズな適応を図り、よりよい人間関係の構築とコミュニケーション能力の向上を図っている。 ○新鮮で安全な食材を使った夜間給食を提供し、食育を推進している。		


高知県立高知海洋高等学校
(全日制 海洋学科・航海専攻科・機関専攻科)

所在地	高知県土佐市宇佐町福島1番地	アクセス	とさでん交通バス「宇佐」行き「海洋高校前」下車。(高知駅より1時間)
TEL	088-856-0202		
通学方法	徒歩18名、自転車37名、バス14名、バイク20名、その他4名		
生徒数	海洋学科(93名) 1学年30名・2学年33名・3学年30名 専攻科(16名) 1学年6名・2学年10名 合計(109名)		
校訓および校章	校訓 「天空海闊」 理想は天空の如く高く気高く、心は大海の如く広く豊かであれ  校舎正門付近		校章  海を表す「波」をモチーフに、高知・海洋の頭文字「K」を組み合わせ、円形(地球・和)の中央に高校の「高」の字を配し、未来への飛躍を表現したものである。 (制作者：香川喜文氏)
			創立27年 スクールカラー ブルー
沿革	(沿革コメント) 平成8年、海を多面的にとらえ、海に対する豊かな知識・技術と逞しいチャレンジ精神を育成し、海洋新時代に対応できる教育を目指して、3科6コースからなる水産海洋系高校として開設された。 平成18年には、入学後に進路選択が可能になるよう総合型学科である海洋学科に改編し、平成21年度より入学時から船舶職員をめざす養成課程を導入し現在に至る。		
基本情報	教育方針 海洋高校ならではの恵まれた施設や環境を活用し、知識、技術習得の教育実践をとおして、豊かな人間性を育て、生徒自らが社会に貢献したいと思うような人材育成を目指す。		
	進路状況 【就職】就職17名(54.8%)、県外就職3名(9.7%) 【進学】大学2名(6.5%)専修学校3名(9.7%)、専攻科6名(19.4%) ※就職・進学希望者の進路決定率は25年度より10年連続100%である。		
	部活動 体育系7部、文化系3部、同好会2部 R4年度実績：カヌー部：K1全国大会優勝 フィッシング部：全国コンテスト優勝		
	主な出身中学 1高岡中(13名) 2朝倉中(7名) 3南海中(6名) 4土佐南中(5名) 5春野中(4名)		
学校の特徴	教職員数 教員(期講及び時講含)41名、実習助手3名、事務職員等40名(船員含)		
	○県内唯一の水産・海洋系専門高校として、船・海・魚のスペシャリストの育成を目指す。 ○大型船舶運航に必要な海技免状(航海・機関)の国家資格取得を目指した、5年一貫の「船舶職員養成課程」と高校卒業後に入学可能な専攻科(航海・機関)を設置している。 ○食品の製造・加工が可能な全国有数の最新設備を生かして、「地域」「安全」「有効利用」「災害備蓄」などをキーワードとした食品の開発に取り組んでいる。 ○実習船土佐海援丸をはじめ、航海や機関に関する豊富な施設等の活用や小型実習船を使用し、海を多面的に捉えた実習を多く取り入れている。 ○フィッシング、カヌー、マリンドайビング、食品科学などの部活動や、体験航海・海洋祭など海洋高校ならではの特色ある学校行事を恵まれた環境を活用して行っている。 ○海技士、小型船舶操縦士、潜水士、海上特殊無線技士、食品技能検定、HACCP検定などの各種資格取得が可能である。 ○寄宿舎を併設 男子(くろしお寮48名定員)、女子(なぎさ寮15名定員)		


(令和5年5月1日現在)

高知県立須崎総合高等学校

(全日制 普通科・機械系学科・電気情報系学科・システム工学系学科)



所在地	須崎市多ノ郷甲 4167-3	アクセス	J R土讃線 大間駅から徒歩約 15 分
TEL	0889-42-1861		
通学方法	徒歩 21 名、自転車 120 名、鉄道 142 名、バス 6 名、バイク 40 名、その他 23 名		
生徒数	普通科 212 名、機械系学科 71 名、電気情報系学科 32 名、システム工学系学科 37 名 1 学年 125 名 2 学年 104 名 3 学年 123 名 合計 352 名		
校訓および校章	校訓 「 友愛・協働・貢献 」 教育目標 1 寛容と友愛の精神を育みます 2 志をもって勉学に励み、幅広い教養や専門知識・技能を育みます 3 未来の社会を担おうという気概と創力・行動力を育みます		校章  「鳥が羽を広げ羽ばたく姿」と「イカリ」「ペン」をイメージした校章です。
			創立 平成 31 年 4 月 1 日
沿革	H 29 須崎高等学校 普通科に改編 須崎工業高等学校 機械系学科・電気情報系学科・システム工学系学科に改編 須崎総合高等学校 1 期生入学 H 30 須崎総合高等学校 2 期生入学 H 31 須崎総合高等学校 開校 R 5 須崎総合高等学校 7 期生入学		(沿革コメント) 旧須崎高等学校 72 年及び旧須崎工業高等学校 78 年の歴史と伝統を継承し、平成 31 年 4 月、和佐田の丘(旧須崎工業高等学校)に「須崎総合高等学校」が開校。高吾地域の進学、産業教育、部活動の拠点校として魅力ある学校づくりを目指し、新たな歴史を刻んでいく。
	教育方針 「人を思い 人とつながり 人に役立つ」人材の育成を目指す		
基本情報	進路状況 4 年制大学 [28 名] (22.4%)、短期大学 [6 名] (4.8%)、専修各種学校 [33 名] (26.4%)、就職 [県内 33 名・県外 21 名] (43.2%)、その他 [4 名] (3.2%)		
	部活動 体育系 13 部、文化系 17 部 全国大会：カヌー部、ソフトボール部、空手道部 (インターハイ)、囲碁・将棋部 四国大会出場：カヌー部、ソフトボール部、卓球部、空手道部、囲碁・将棋部 ソフトボール部、バスケットボール部等は県大会上位入賞。 書道部、美術部、商業部は種々の大会で受賞。		
	主な出身中学 1. 朝ヶ丘中 2. 須崎中 3. 窪川中 4. 佐川中 5. 葉山中		
	教職員数 教員 (講師含) 66 名・実習助手 2 名・事務職員等 6 名		
学校の特色	平成 31 年 4 月に旧須崎工業高校と旧須崎高校両校の歴史と伝統を継承した県内初の普通科と工業科 (機械系学科 [機械専攻・造船専攻]、電気情報系学科 [電気専攻・電子情報専攻]、システム工学系学科 [機械制御専攻・住環境専攻]) を設置した新たな学校である。 高吾地域の進学、産業教育、部活動の拠点校として教育環境を整え、魅力ある学校づくりに取り組み、これまでの地域おこし活動を継承しながら地域を支える人材を育成していく。 普通科では 2 年次より進学、ビジネス・ライフ、探究活動のコース選択を行う。生徒の多様な進路希望を実現するために、進学を希望する生徒に補習や模擬試験等を充実させ、自ら学ぶ態度と必要な学力を養う。 工業科では新しい実習設備の導入により、各系学科で充実した専門知識の技術、技能を学習している。各種資格試験の受験が可能で、一人 2 資格取得を目指している。		

高知県立須崎総合高等学校
(定時制 普通科)



所在地	須崎市多ノ郷甲4167-3	アクセス	JR大間駅より徒歩15分
TEL	0889-42-1861		
通学方法	徒歩5名、自転車3名、バス1名、バイク2名、自家用車8名		
生徒数	普通科19名 1年次5名・2年次5名・3年次5名・4年次4名		
校訓および校章	校訓 「 友愛・協働・貢献 」 教育目標 1 基本的生活習慣の確立 2 進路を模索するための能力・資質の高揚 3 人間尊重の精神の育成		校章  「鳥が羽を広げ羽ばたく姿」と「イカリ」「ペン」をイメージした校章です。
			創立 平成31年4月1日
沿革	S21.4 須崎中学校・高等女学校開校 S24.4 定時制普通科夜間課程設置 H11.11 定時制創立50周年記念式典 H28.10 創立70周年記念式典 H29.11 校章制定 H30.1 校歌完成 H30.11 創立72周年記念式典 H31.4 須崎総合高等学校開校 R1.10 開校記念式典 R5.3 第4回卒業式	(沿革コメント) 前身となる須崎高等学校定時制は、城山公園南麓の鍛冶町に昭和24年に設置されました。今年度で75年目を迎えます。 校舎建設に伴い、昭和36年に下分甲へ移転。平成31年4月に統合されるまでに約900名の卒業生を送り出し、高吾地域の定時制教育の一翼を担ってきました。	
基本情報	教育方針 「人を思い 人とつながり 人に役立つ」人材の育成を目指す		
	進路状況 令和4年度 大学等進学者1名、専修学校等進学者5名		
	部活動 県定通体育大会には、バドミントン・卓球の2種目で参加。 令和元年度卓球 女子団体 優勝、 全国大会出場		
	主な出身中学 1. 朝ヶ丘中 2. 須崎中 3. 窪川中 4. 葉山中 5. 南中・上分中		
	教職員数 教員(期講含)8名・事務職員等1名		
学校の特色	○本校は単位制で、74単位以上習得すれば(必修科目を含む)高校卒業資格が取得できます。 ○学校は1週間に5日間(月～金)、1日に4時間です。 ○授業は午後6時から始まり午後9時10分に終わります。 ○授業は基礎的な内容を学習します。少人数の家庭的な雰囲気の中で学習します。 ○過去に高校に在学していた生徒は、その時の学習成果(修得単位)を認定しますので、3年以内で卒業することも可能です。		

(令和5年5月1日現在)


高知県立佐川高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高岡郡佐川町乙1789-5	アクセス	J R 西佐川駅から徒歩15分 黒岩観光バス路線有
TEL	0889-22-1243		
通学方法	徒歩11名、自転車49名、バイク2名、鉄道10名、バス13名、保護者送迎25名		
生徒数	普通科 合計110名 (1学年37名・2学年43名・3学年30名)		
校訓および校章	校訓 校是「いのち輝け」 「雅の里に理想を燃やし、若き命を輝かせ、世界に幸せ結ばん。」 歩むべき方を高く見据え、龍の如く頭を天に向かい、その行いは蛇のように綿密に泥叢に深く分け入って、勉励刻々にいのち息付き、その成果は己一人の想いに滞らず、広く世の人々に至らんとするの意。		校章  佐川町は古くから桜の郷として有名であり、桜の花をデザイン化したものです。 左右の円弧は桜の若葉を表し、中央下の小円はサクランボを表しています。
			創立101年
沿革	沿革 T11 高知県立佐川高等女学校として開校 S23 新制高知県立佐川高等学校設置 仁淀分校設置 S24 高知県立佐川高等学校設置 S25 日下分校設置 S31 仁淀高校分離独立 S51 日下分校閉校 H23 仁淀高校が本校に統合 H25 創立90周年 R 4 創立100周年	(沿革コメント) 大正11年、佐川高等女学校が創設され、以来高吾北地区の教育文化の発展にその役割を果たす。戦後の高等学校再編成に伴い県立佐川高等学校と改称され、伝統ある校風を受け継ぎ、男女共学の高等学校として再出発した。 昭和43年度本館、食堂、プール落成。45年度格技場落成。46年度屋内体育館落成。58年度南校舎落成等。平成23年度本館耐震補強工事完成。25年度グラウンド改修工事完成。27年度体育館耐震補強工事完成。	
基本情報	教育方針 生徒一人ひとりの夢の実現を目指し、個性と人権を尊重しつつ社会人として、「生きる力」を持った健全な人材の育成に努める。 1 学力向上 2 基本的な生活習慣の確立 3 生きる力の育成 4 キャリア教育の推進		
	進路状況 (令和4年度卒業生31名) 大学8名(25.8%)、短大3名(9.7%)、専修等7名(22.5%)、就職12名[県内8, 県外4](38.7%) その他1名(3.3%)		
	部活動 体育系5部、文化系8部 体育系では、ソフトボール部が過去10年間でインターハイ出場2回、全国高等学校選抜大会出場2回を誇る県内屈指の強豪チームとして元気に活動しています。その他に、バレーボール部、バスケットボール部、卓球部、テニス部があります。 文化系では、地域の実態把握や課題解決に取り組む地域マネジメント部が活発に活動しており、その活動は地域からも高く評価されています。その他に、パソコン部、写真部、書道部、茶道部、美術・漫画部、放送部、音楽部があります。		
	主な出身中学校 佐川中 越知中 仁淀中 池川中 加茂中 尾川中 朝ヶ丘中		
教職員数 教員(期講及び時講含)21名 事務職員等4名			
学校の特色	○100年の歴史と伝統 大正11(1922)年、江戸時代の名教館より続く文教の町・佐川町に佐川高等女学校として誕生した学校創立100周年を迎える歴史と伝統のある学校です。1万人を超える卒業生を輩出しています。 ○いのち輝け ～さくら咲くプロジェクト～ 地域の魅力と課題を知り、地域のために自分たちにできることは何かを考える体験型課題探究学習プログラムです。地域社会に貢献する意欲を持った人材を育成するとともに、社会に出て必要な能力(コミュニケーション能力、協働する力、粘り強く考える力など)を身に付け、自分の体験を自分の言葉で語り、自らの進路を切り拓く力を養います。 ○佐高検定チャレンジ支援制度 学校が指定する資格検定の中から、生徒が希望する検定試験の受検費用を支援しています。		

高知県立佐川高等学校
(定時制 普通科)

所在地	高知県高岡郡佐川町乙1789-5	アクセス	JR西佐川駅から徒歩15分 黒岩観光バス路線有
TEL	0889-22-1243		
通学方法	徒歩4名、自転車6名、鉄道1名、バイク1名、その他5名		
生徒数	普通科(17名) 1年次(5)名・2年次(4)名・3年次(3)名・4年次(5)名		
校訓 および 校章	校訓 校是「いのち輝け」 「雅の里に理想を 燃やし、若き命を輝 かせ、世界に幸せ結 ばん。」  歩むべき方を高く見据え、龍の如く頭 を天に向かい、その行いは蛇のように綿 密に泥叢に深く分け入って、勉励刻々に いのち息付き、その成果は己一人の想い に滞らず、広く世の人々に至らんとする の意。	校章  佐川町は古くから桜 の郷として有名であり、 桜の花をデザイン化し たものです。 左右の円弧は桜の若 葉を表し、中央下の小円 はサクランボを表して います。	
		創立74年	スクールカラー 桜色
沿 革	沿革 S23 定時制の課程設置 H19 単位制導入	(沿革コメント) 平成19年度から単位制を導入し、現在に 至っています。また、平成21年度からは、 3修制(3年間で修了する制度)を取り入 れています。	
基 本 情 報	教育方針 生徒一人ひとりの夢の実現を目指し、個性と人権を尊重しつつ社会人として、「生きる力」を持った健全な人材の育成に努める。 1 基礎学力の定着 2 基本的な生活習慣の確立 3 「生きる力」の育成 4 キャリア教育の推進		
	進路状況 (令和4年度卒業生3名) ・専修等 2名 (66.7%) ・就職県内 1名 (33.3%)		
	部活動 部としては活動していませんが、定通体育大会には出場しています。		
	主な出身中学 1. 佐川中 2. 越知中 3. 須崎中		
教職員数 教員(期講及び時講含)7名・事務職員等1名			
学 校 の 特 色	「自己理解を深め、夢を実現できる学校」を目指して、基礎・基本を重視した授業に取り組むとともに、働く青年や社会人に対しては「働きながら学ぶ」場や「学び直し」の場を保障することに取り組んでいます。生徒会行事に生徒全員で積極的・主体的に取り組んでいる学校です。		

高知県立窪川高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高岡郡四万十町北琴平町6-1	アクセ ス	JR窪川駅から北へ徒歩約10分
TEL	0880-22-1215		
通学方法	徒歩12名、自転車14名、鉄道10名、バス13名、その他33名		
生徒数	普通科(82名): 1学年22名、2学年36名、3学年24名		
校訓および校章	校訓 「友愛」・「誠実」・「勤勉」	 校章 全体の形は「山や谷を有する高南台地」を、3つの角は「真、善、美」を表しています。また、中の人の字は、高南台地の山並みを、そして、これらが一つの輪になって盛り上げていこうという願いが込められています。	
			
沿革	S17 高知県立窪川農業学校として、農業科、林業科、女子部を置き開設。 S23 学制改革により新制高校となり、校名を高知県立窪川農業高等学校とする。 S24 普通科設置。高知県立窪川高等学校とする。 S57 農業科廃止。普通科単独校。 H24 創立70周年式典挙行 H26 コース選択(地域リーダー養成コース、大学進学コース)を導入する。 H31 大学進学コースを進学コースに改称。 R05 創立80周年式典挙行	(沿革コメント) 昭和17年に農業学校として農業に携わる若い人材を育成することを目的に開校する。 高南台地の最高学府として次の世代を育て、希望と情熱に溢れ、勇気に満ちて日々新たなる教育文化の向上に資する強い思いがあった。 昭和57年には農業科への入学人数の減少に伴い、農業科は廃止となる。普通科単独校として「進学型」「就職型」の二類型が開設され、現在の「地域リーダー養成コース」「進学コース」へと継承発展している。 令和5年には創立80周年を迎えた。	
基本情報	教育方針 (1) 豊かな人間性の育成 礼儀正しい態度や人を思いやる心を育て、積極的に社会に貢献しようとする生徒を育成する。 (2) 学力の向上 基礎的・基本的な知識や技術を身につけ、自分の目標に向かってさらなる努力ができる生徒を育成する。 (3) 進路保障 自らの能力や適性を伸ばし、高い進路目標に向かって努力できる生徒を育成する。		
	進路状況 大学2名(14.3%) 専修学校等6名(42.9%) 就職6名(42.9%)		
	部活動 文化系 5:音楽、クリエイティ、食物・手芸、茶華道、地域探究同好会 体育系 5:水泳、ソフトテニス、卓球、バスケットボール同好会、総合スポーツ同好会		
	主な競技成績(前年度) 水泳部 県体 男子 400m自由型3位(四国大会出場) 200m自由型6位(四国大会出場)		
	主な出身中学 1. 窪川中 2. 佐賀中 3. 興津中、須崎中 4. 十川中		
教職員数 教員(期講及び時講含)24名、実習助手 1名、事務職員等(臨時含)13名			
学校の特色	教育課程 1年次は共通、2年次よりⅠ型(地域リーダー養成コース)とⅡ型(進学コース)に分かれて、進路希望に応じた学習(授業・補習等)を行います。 Ⅰ型……商業系と農業系に分かれ、実習や地域課題研究等、実践的な学習を行うとともに、各種検定・資格取得を目指します。 Ⅱ型……理系と文系に分かれ、国公立大学や私立大学、短期大学や看護医療系の専門学校等への進学に対応した学習を行います。		
	地域課題研究 「社会の一員として何ができるのか?」を考えるきっかけ作りを授業や行事を通して行っています。町に住む多様な背景を持つ人々と交流することで、新しい発見や気づきが生まれます。		
	少人数指導 生徒から「先生との距離が近くて気軽に相談しやすい」という声を聞きます。本校は先生1人あたりの生徒数が少なく、一人ひとり丁寧にみていることが強みです。		
	生徒会活動 体育祭や文化祭、ホームマッチなど多くの行事を生徒たち主導で企画・運営するなど活発です。小・中学校や地域と積極的に連携し、生徒会新聞等を通じて地域への情報発信を行っています。		

(令和5年5月1日現在)

高知県立梶原高等学校

(全日制 普通科)

所在地	高岡郡梶原町梶原 1 2 6 2	アクセス	J R 須崎駅より高陵交通バスで 1 時間、停留所より徒歩 5 分
TEL	0 8 8 9 - 6 5 - 0 1 8 1		
通学方法	徒歩 48 名、自転車 30 名、バス 7 名、バイク 19 名、その他 16 名		
生徒数	普通科 (120 名) 1 学年 42 名・2 学年 39 名・3 学年 39 名		
校訓 および 校章	校訓 自律心に徹し、誠を愛せよ 個性の伸長に志し、品格を磨け 真理の探求に志し、社会に貢献する人たれ		校章  開校当時の津野山地域 6 地区の発展・充実と 生徒の成長を願い、「梶 の木」の葉 6 枚をモチー フとした校章を策定し ました。
			創立 90 年
沿革	S 9 年 梶原村立孝山塾青年学校として 開校 S 2 4 年 高知県立梶原高等学校と改称、 普通科・農業科 (後の農林科) を設置 S 4 9 年 農林科募集停止 H 1 3 年 連携型中高一貫教育校開設	(沿革コメント) 昭和 9 年、梶原村立孝山塾青年学校として開校す る。昭和 2 4 年、高等学校再編により、高知県立梶原 高等学校に改称。昭和 4 9 年には農林科が募集停止と なるが、農業コースを残し、農業分野の充実・発展に 寄与する。 平成 1 3 年、梶原中学校・東津野中学校との間で津野 山地域中高一貫教育校を開設。本地域の教育の拠点と して、生徒の健全育成に励む。	
基本 情報	教育方針 ・・・生徒一人ひとりの夢の実現を目指し、個性を尊重しつつ社会人としての真の 学力・生きる力を持った健全な人材の育成に努める。 ■学力の向上～希望進路の実現～ ■心身ともに豊かな人間性・社会性の涵養 (育成) ■社会や地域に貢献する人材の育成 学校経営構想 ・・・「社会や地域に貢献できる人づくり」のため、キャリア教育の推進を図る。		
	進路状況 ・大学 17 名 (43.6%) 〈内 国公立大学 5 名〉・短大 0 名 (0.0%) ・専修等 12 名 (30.8%) ・就職県内 6 名 (15.4%) 〈公務員 2 名〉・就職県外 4 名 (10.3%) 〈公務員 1 名〉		
	部活動 【体育系】 アーチェリー部・野球部・バスケットボール部・陸上競技部・剣道部・硬式テニス部 【文化系】 梶原ディスカバークラブ・美術部・音楽部		
	主な出身中学 1. 梶原 2. 東津野 3. 窪川 4. 葉山 5. 城北 高岡		
	教職員数 教員 (期講及び時講含) 22 名・実習助手 1 名・事務職員等 6 名		
学校 の 特色	四万十川上流域にある本校は、連携型中高一貫教育校として東津野・梶原の 2 中学校と連携教育を行っ ている。中高一貫 6 年間の計画的・継続的な教育活動により、生徒の学力の向上、個性の伸長、郷土愛の 育成、地域の発展に貢献できる人材の育成を目指し、①学力の向上 (中高教員の交流授業、連携教材づく り)、②生徒会や部活動、各学校行事等の活動・交流、③神楽の伝承、アーチェリーの競技力向上等を実 践している。また、生徒の適性や希望進路に応えるため、農業・家庭・商業に関する科目を設置するとと もに、英語・数学において、中高教員による少人数の習熟度別学習を取り入れ、学力の向上を図っている。 さらに、ICT 機器を利用した遠隔教育では、都市部の高校と遜色のない授業や補習が展開されている。 生徒の自己実現のために、キャリア教育をテーマとした総合的な探究の時間、進路ガイダンス、キャリ ア教育講演会、大学・企業訪問、面接マナー講座、総合的な探究の時間発表会等を実施している。 部活動では、アーチェリー部や梶原ディスカバークラブ (神楽) が全国大会に出場し、野球部、バスケ ットボール部、陸上競技部などが活発である。 家庭クラブ・農業クラブ、生徒会活動、ボランティア活動等も盛んであり、地域に根ざした教育を実践 している。		

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

高知県立四万十高等学校
(全日制 普通科)

所在地	高岡郡四万十町大正590-1	アクセス	JR土佐大正駅から徒歩7分
TEL	0880-27-0034		
通学方法	徒歩34名、自転車8名、鉄道18名、バス5名、車(送迎)2名		
生徒数	普通科普通コース40名、普通科自然環境コース27名 合計67名 1学年25名、2学年22名、3学年20名		
校訓および校章	校訓 真理の探究 勤労の愛好 個性の尊重 	校章  ブルーで「四万十川の清流」、グリーンで「緑の自然環境」を表すとともに、伸びゆく生徒の若い力、未来に向けた環境教育を推進する学校の姿、無限の広がり表現している。	
		創立69年	スクールカラー 規定なし
沿革	S29.5 窪川高等学校大正分校(定時制林業科)として開設 S40.4 校名を大正高等学校とし、独立校として発足 S55.4 林業科の募集停止 H11.4 校名を四万十高等学校と改称、普通科自然環境コースを設置 H13.4 連携型中高一貫教育を開始	(沿革コメント) 平成11年には、高知県立四万十高等学校と改称し、四万十川中流域の自然豊かな環境を学びのフィールドに、普通科及び普通科自然環境コースを設置して、全国からの生徒募集を開始した。平成14年には、「木の香寮」が完成。 地域から心温かい支援を受け、落ち着いた教育活動が展開できることが本校の強みである。	
基本情報	教育方針 教育基本法に則り、社会の変化に主体的に対応できる豊かな心と強い意志、幅広い知識をもった人間の育成を目指すとともに、地域社会の期待に応え信頼される教育を推進する。 1 自然と共鳴し、調和して生きる感性豊かな生徒を育てる。 2 情報化、グローバル化、少子高齢化が進展する社会の諸課題に主体的かつ創造的に対応し、それぞれの地域で活躍できる生徒を育てる。 3 生徒一人ひとりの個性を尊重し、人格形成や将来の自己実現に向けた教育を行う。		
	進路状況 ・大学・短大7名(41.2%)〈内 国公立大学3名〉 ・専修学校等6名(35.3%) ・就職4名(23.5%) 進学は資格取得を目指した分野に進む傾向がある。就職は4名中1名が公務員合格者である。		
	部活動 体育系3部、文化系8部 ソフトボール部(男子)は、令和2年度に準優勝1回、3位2回、令和3年度に3位1回を経験し、地域とともに全国大会を目指している。自然環境部は高校理科研究発表会で数多く入賞しており、継続した四万十川の水質調査や人工林の植生調査を行っている。音楽部は、連携中学校との合同活動を行っており、多くの地域行事に出演している。令和4年度は全国大会において2年連続で優秀賞を受賞した。ドローン部は、外部講師のもと操縦技術や撮影・編集技術の向上に取り組み、学校紹介動画を作成した。		
	主な出身中学 1. 大正中 2. 十川中 3. 西土佐中		
教職員数 教員(期講及び時講含)24名・実習助手1名・事務職員等5名			
学校の特色	連携型中高一貫教育を行っている大正・十和地域出身の在学比率は、約60%である。令和2年度入学生生募集から「地域みらい留学」に参画して全国に向けた情報発信を積極的に行い、現在は、県外からの入学生が67名中20名(約30%)、寮生が21名となっている。地元の生徒とこれまでの生活や学習の環境が大きく異なる県外生がともに学ぶことで、多様な価値観に触れながら互いに切磋琢磨できる環境が生まれ、地域や学校の活性化につながるとともに、生徒の進路実現にも好影響がみられている。 学校は非常に落ち着いており、地域の協力を得て、豊かな自然環境や地域の課題を学ぶ教育活動に取り組んでいる。総合的な探究の時間(四万十探究)での学びを地域イベントの開催に結び付けるなど、地域貢献をとおした社会性や主体性の育成を目指している。また、自然環境コースは、森学習・川学習・海学習のフィールドワークや農業実習等を活かして、体系的に森と川と海のつながりを学習するとともに、各自が見出した課題に対する探究活動を行い、卒業研究のプレゼン発表や研究論文としてまとめている。		


(令和5年5月1日現在)

高知県立大方高等学校
(全日制 単位制 普通科)

所在地	幡多郡黒潮町入野 5 5 0 7	アクセス	土佐くろしお鉄道 土佐入野駅から徒歩 1 0 分
TEL	0 8 8 0 - 4 3 - 1 0 7 9		
通学方法	自転車 21 名、徒歩 20 名、自転車・鉄道 18 名、自家用車 12 名、自家用車・鉄道 8 名、鉄道 7 名、その他 5 名		
生徒数	普通科 (9 1 名) 1 年次 3 6 名、2 年次 2 2 名、3 年次 3 3 名		
校訓 および 校章	校訓  		校章  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大方の頭文字「大」 ◆ 校訓「自主・努力・創造」 ◆ 大きな未来、輝く明日への飛躍 <p>校章は、この 3 点を組み合わせた図案である。大方高校の校訓の翼をつけ、力強く明日に飛び立つ生徒の姿を象徴している。</p>
			創立 1 9 年
沿革	平成 1 7 年 県立高等学校再編計画(平成 1 5 年)により、多部制単位制普通科高校として開校 平成 2 9 年 県立高等学校再編振興計画(平成 2 6 年)により、全日制単位制普通科設置		(沿革コメント) 平成 1 7 年 4 月 1 日県立高等学校再編計画に基づき高知県立大方高等学校として開校。 平成 29 年度より、全日制単位制普通科高校として、人権教育を基盤とした生徒指導・支援により、生徒がもっている「意欲を引き出す」ことができる学校を目指して取り組んでいる。
基本情報	教育方針 ○生徒のもっている「意欲を引き出す」生徒指導の推進 ○ユニバーサルデザインの授業展開による学力の定着 ○社会の一員として責任を果たすことができる社会力の育成 ○「夢」や「志」をもたせる指導の充実と、目指す進路を実現できる指導の推進 ○故郷を大切に思う生徒の育成に向けた地域との連携		
	進路状況 大学 8 名 (29.6%) 短大 1 名 (3.7%) 専修等 1 1 名 (40.7%) 就職県内 6 名 (22.2%) その他 1 名 (3.7%)		
	部活動 体育系 7 部、文化系 8 部 女子サッカー部に(一社)セレッソ大阪スポーツクラブより外部指導者を配置。 地域の女子 Jr ニースチームと連携して活動。		
	昨年度記録 陸上競技部 : 第 52 回高知県高校新人陸上大会 男子 400mH 第 7 位 簿記・ワープロ部 : 第 7 0 回高知県高等学校技術競技大会「商業の部」 団体 情報処理の部 2 位 日商簿記検定 2 級 1 名 3 級 2 名、全商商業経済検定 1 級 1 名、 全商情報処理検定ビジネス情報部門 1 級 1 名、全商簿記実務検定 2 級 1 名		
主な出身中学 1. 大方中 2. 市立中村中 3. 中村西中 4. 佐賀中 5. 下田中			
教職員数 教員(期講及び時講含) 2 9 名・実習助手 2 名・事務職員等 5 名			
学校の特色	○ 学ぶ意欲をもつ生徒へ門戸を開く学校として、他者を思いやり尊重する心や共感する心を育み、協力し合いながら人間関係を築こうとする態度やコミュニケーション力を育成します。 ○ 全日制単位制普通科高校として、多様な教育課程の編成や学校外での学修(ボランティア活動、資格取得等)の単位認定など、生徒の多様なニーズに応える「学び」のシステムを生かして、生徒一人一人の個性や能力を伸ばしていきます。 ○ 入学時から計画的なガイダンスを実施するとともに、学校生活や心に関するカウンセリングをきめ細かく行います。 ○ 地域や大学と連携した探究活動の推進、地域貢献をテーマに学び行動する取組、地域と連携した防災活動等を通して、社会で活躍できる人材の育成に努めます。 ○ 校内にある黒潮町営塾の活用と連携を行い、進学希望生徒の進路実現をサポートします。		

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

高知県立大方高等学校
(定時制 単位制 普通科)

所在地	幡多郡黒潮町入野 5 5 0 7	アクセス	土佐くろしお鉄道 土佐入野駅から徒歩 1 0 分	
TEL	0 8 8 0 - 4 3 - 1 0 7 9			
通学方法	徒歩 2 名、鉄道 4 名、バイク 1 名、自家用車 2 名、その他 4 名			
生徒数	普通科 (1 3 名) 1 年次 3 名、2 年次 4 名、3 年次 4 名、4 年次 2 名			
校訓および校章	校訓「自主・努力・創造」 		校章  <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大方の頭文字「大」 ◆ 校訓「自主・努力・創造」 ◆ 大きな未来、輝く明日への飛躍 <p>校章は、この 3 点を組み合わせた図案である。 大方高校の校訓の翼をつけ、力強く明日に飛び立つ生徒の姿を象徴している。</p>	
			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>創立 1 9 年</td> <td>スクールカラー 青</td> </tr> </table>	創立 1 9 年
創立 1 9 年	スクールカラー 青			
沿革	<p>県立高等学校再編計画（平成 1 5 年）により、平成 1 7 年 4 月に多部制単位制普通科高校として開校</p> <p>(沿革コメント) 平成 1 7 年 4 月 1 日県立高等学校再編計画に基づき高知県立大方高等学校として開校。 幡多地域の多部制単位制高校としてキャリア教育、開放講座を実施。 定時制では、多様な生徒のニーズに応える工夫として、三修制の推進、スキルアップ支援に取り組んでいる。</p>			
基本情報	教育方針 <ul style="list-style-type: none"> ○生徒のもっている「意欲を引き出す」生徒指導の推進 ○ユニバーサルデザインの授業展開による学力の定着 ○社会の一員として責任を果たすことができる社会力の育成 ○「夢」や「志」をもたせる指導の充実と、目指す進路を実現できる指導の推進 ○故郷を大切に思う生徒の育成に向けた地域との連携 教育重点目標 <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎学力の定着と進路保障（授業改善と授業規律の徹底） <ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席、遅刻、早退、中抜け防止 ・ 授業中の飲食や携帯電話の使用をさせない指導 ・ 教科書、筆記用具の携帯 ・ 「生徒の意欲を引き出す授業」の推進 ② 基本的生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶運動 ・ T P O に応じた服装と言葉遣い ・ 全員での清掃活動 			
	進路状況 短大 1 名 (5 0 %) その他 1 名 (5 0 %)			
	部活動 体育系 1 部、文化系 1 部 運動部（バドミントン部）においては、授業後の 3 0 分の短い時間に、各種大会出場の目標をもって継続した活動を行っている。			
	主な出身中学 1. 大方中 2. 市立中村中 3. 県立中村中 4. 佐賀中 5. 窪川中			
教職員数 教員（期講及び時講含） 1 1 名・事務職員等 2 名				
学校の特徴	<p>定時制単位制で普通教科を中心としたカリキュラムを編成し、基礎・基本を重視した授業を行っている。少人数の利点を生かし、中学校の学び直しから始め、高等学校への内容につなげる指導を行っている。</p> <p>また、3 年間で卒業することを可能とするため、0 時限目の実施、通信制授業や開放講座を併修することができるようにしている。学校外での学修（主として資格取得）を積極的に推進し、卒業単位に加算するようにしている。</p> <p>小学校・中学校で集団に馴染めなかった生徒も受け入れ、多様な生徒への学習指導を行っている。</p>			

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

高知県立大方高等学校
(通信制 普通科)

所在地	幡多郡黒潮町入野 5 5 0 7	アクセス	土佐くろしお鉄道
TEL	0 8 8 0 - 4 3 - 1 0 7 9		土佐入野駅から徒歩 1 0 分
通学方法	鉄道 3 4 名、バイク 3 名、自動車 9 名、保護者送迎 2 8 名 その他 3 名		
生徒数	普通科 7 7 名 1 年次 2 7 名、2 年次 3 3 名、3 年次 1 1 名、4 年次以上 6 名		
校訓および校章	校訓「自主・努力・創造」	 <p>校章</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 大方の頭文字「大」 ◆ 校訓「自主・努力・創造」 ◆ 大きな未来、輝く明日への飛躍 <p>校章は、この 3 点を組み合わせた図案である。 大方高校の校訓の翼をつけ、力強く明日に飛び立つ生徒の姿を象徴している。</p>	<p>創立 1 9 年</p> <p>スクールカラー 青</p>
			
沿革	<p>県立高等学校再編計画（平成 1 5 年）により、平成 1 7 年 4 月に多部制単位制普通科高校として開校</p>	<p>(沿革コメント)</p> <p>平成 1 7 年 4 月 1 日、県立高等学校再編計画に基づき高知県立大方高等学校として開校。 幡多地域の多部制単位制高校としてキャリア教育を実施。通信制では、全日制、定時制との併修など幅広い年齢層の学び直しの場としての役割を果たしている。</p>	
基本情報	<p>教育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒のもっている「意欲を引き出す」生徒指導の推進 ○ ユニバーサルデザインの授業展開による学力の定着 ○ 社会の一員として責任を果たすことができる社会力の育成 ○ 「夢」や「志」をもたせる指導の充実と、目指す進路を実現できる指導の推進 ○ 故郷を大切に思う生徒の育成に向けた地域との連携 <p>教育重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎学力の定着と学力の向上を図るため、学習指導と授業規律の充実に取り組む。 ② 社会性を身に付けた人材を育成するとともに、きめ細かな進路指導を行い、一人ひとりの進路希望の実現に向けて取り組む。 ③ 開発的・予防的生徒指導を核とし、生徒理解と生徒支援の充実により強みを伸ばすとともに、キャリア教育を通して在り方生き方の向上・充実に取り組む。 ④ 家庭・地域・小中学校・関係機関と連携し、開かれた学校づくりを推進するとともに、防災教育などの充実を図り、特色ある学校づくりに取り組む。 		
	<p>進路状況 (令和 4 年度) ・大学 2 名 (11.1%) ・専修等 5 名 (27.8%) 就職県内 2 名 (11.1%) ・就職県外 1 名 (5.6%) ・その他 (継続就業を含む) 8 名 (44.4%)</p>		
	<p>部活動 体育系 3 部 バドミントン部、卓球部、陸上部 文化系 1 部 農業クラブ</p>		
	<p>主な出身中学 1. 窪川中 2. 市立中村中 3. 宿毛中 4. 片島中・清水中</p>		
	<p>教職員数 教員 (期講及び時講含) 8 名・非常勤職員 (養護) 1 名・事務職員等 1 名</p>		
学校の特色	<p>県西南地域における通信制教育の拠点校として、黒潮町及び幡多郡一円をエリアとしている。普通教科を中心としたカリキュラムを編成し、基礎・基本を重視した授業を行う。英語・国語・数学については、1 年次の選択科目として学校設定科目「英語・国語・数学トレーニング」を設置し、中学校の学び直しから始め、高等学校への内容につなげる指導を行っている。卒業予定者に対しては「総合的な探究の時間」の履修を通して進路意識の形成およびスキルの向上を図る探究活動を行っている。</p> <p>また、併修生については、本校の全日制や定時制又は他校から受け入れ、幅広く「学びの場」としての役割を担っている。</p> <p>近年の入学生の特徴としては、特技を生かすために入学する生徒や前籍校や中学校時代に不登校を経験した生徒の入学が増加傾向にある。そのため、個別指導や保護者面談などを数多く取り入れ柔軟に教育的ニーズに応える学校づくりを行っている。</p> <p>また、前後期制によりそれぞれ単位認定を行っており、前期 (9 月) ・後期 (3 月) 卒業式、前期 (4 月) ・後期 (1 0 月) 入学式を実施している。</p>		

高知県立幡多農業高等学校

(全日制 園芸システム科・アグリサイエンス科・グリーン環境科・生活コーディネート科)



所在地	四万十市古津賀 3 7 1 1	アクセス	土佐くろしお鉄道 古津賀駅から徒歩 10 分
TEL	0 8 8 0 - 3 4 - 2 1 6 6		
通学方法	徒歩 29 名、自転車 116 名、鉄道 18 名、バス 3 名、バイク 45 名、その他 34 名		
生徒数	園芸システム科(77 名)・アグリサイエンス科(57 名)・グリーン環境科(41 名) 生活コーディネート科(70 名) 合計(245 名) 1 学年 (70 名)・2 学年 (72 名)・3 学年 (103 名)		
校訓 および 校章	校訓 至 誠 勤 労 礼 節 親 和	 <p>学校全貌</p>	校章  <p>昭和 4 4 年に生徒・教職員より公募し決定。 台座の形は、創立当時の仮名称「ハタ」を生かしたひし形にし、農業の「N」とした。</p>
			創立 8 2 年 スクールカラー グリーン
沿革	<p>S16 高知県立幡多農林学校として創立 S19 私立幡多実業女子学校を施設と共に合併女子部として併設 S23 学制改革により新制高等学校高知県立幡多農業高等学校発足 S29 山奈分校設置(S38 宿毛農工高校に) S35 大月分校開校(S51 宿毛高校大月分校に) S38 高知県立幡多農工高等学校に改称 S44 高知県立幡多農業高等学校と校名変更 S47 現在地(古津賀)へ移転 S63 学科改編(園芸科学科・農産科学科・林業科・生活科学科) H 6 林業科を森林科学科に学科改編 H15 学科改編(園芸システム科・アグリサイエンス科・グリーン環境科・生活コーディネート科)</p>		
	<p>(沿革コメント) 本校は、常に時代の要求と地域社会の要望にこたえ、特色ある教育を行い、理想の実業教育達成に邁進してきた。 地元の熱望と時代の推移・地域の懸案により分校・科を増設し校名を幡多農工高等学校と改称するが、その後の時勢の急変と地域の動向に従い、県立幡多農業高等学校の旧名に復した。 このように、本校のたどった道に曲折はあるが、農林業を主軸とする近代化に即応した地域開発にこたえる人材育成こそ創設以来の宿命としている。 現在、農業の持つ教育力を活用し、「農業を学ぶ」教育と「農業で学ぶ」教育を実践し、地域に根差し、地域のリーダーシップが取れる人材の育成に取り組んでいる。</p>		
基本情報	<p>教育方針 産業人として崇高な理想と優れた知識・技能を有し、農業の担い手や関連産業従事者を育成するとともに、地域を支える有為な人材を育成する。 (1) 農業の教育力を最大限に活用して、心豊かな人間性を育成する。 (2) 学力の向上に努め、学科の特色を活かし、生徒の希望進路を実現させる。 (3) キャリア教育の充実を図り、生徒の生きる力を育む。</p>		
	<p>進路状況 ・大学 12 名 (14.1%) (内 国公立大学 2 名)・短大 3 名 (3.5%) ・専修等 42 名 (49.4%)・就職県内 14 名 (16.5%)・就職県外 12 名 (14.1%) ・その他 2 名 (2.4%) ●キャリア教育の視点から、早い段階から目標設定能力や問題解決能力の向上に努めている。また、就職対策講座といった自らのスキルアップを向上させる取り組みを行っている。</p>		
	<p>部活動 体育系 14 部、文化系 6 部、農業クラブ</p>		
	<p>主な出身中学 1. 市立中村中 2. 大方中 3. 中村西中 4. 清水中 5. 大月中</p>		
学校の特色	<p>教職員数 教員(期講及び時講含) 44 名・実習助手(期付含) 11 名・事務職員等 13 名</p>		
	<p>生徒の夢や希望を実現できる学校 農業の持つ教育力を最大限に活用して、心豊かな人間性を育てるとともに、生徒に多くの活躍の場を提供し、自主性、自立性、生きる力等を育成して、生徒一人ひとりの将来の夢や目標が達成できる教育を実践している。</p>		
	<p>特色ある教育課程(4科・3コースの設置) 4 学科を設置し、2 年生から生徒一人ひとりの希望進路に応じて選択できる 3 つのコースを設けている。 生徒が輝き躍動する学校 アグリパークはたのう推進事業・アグリっ子活動支援事業などを柱とした教育活動を推進し、地域に開かれた学校づくり、生徒の資格取得や部活動の支援、そして自然とともに歩む環境教育に取り組んでいる。</p>		

高知県立中村高等学校
(全日制 普通科)

所在地	四万十市中村丸の内24	アクセス	土佐くろしお鉄道中村駅から徒歩で約20分	
TEL	0880-34-2141			
通学方法	徒歩56名、自転車228名、鉄道101名、バス4名、バイク26名、その他55名			
生徒数	普通科(470名) 1学年(167名)・2学年(153名)・3学年(150名)			
校訓および校章	校訓  「不動不休の精神」 ゆるぎなき不動の信念と新しい創造、不断の努力の大切さを表す。	校章  四万十市ゆかりの藤の複葉三本を人の字型に配す。学校が人づくりの場であり、三本の複葉は真・善・美を意味する。	創立 123年 スクールカラー えんじ	
	沿革 M33 高知県立第二中学校分校として開校 S24 高知県立中村高等学校として発足 H12 創立百周年記念式典挙行 H14 高知県立中村中学校開校 西土佐分校創立50周年記念式典挙行 R3 創立百二十周年記念関連事業実施	(沿革コメント) 明治33年(1900年)男子校として発足、明治41年(1908年)女子校として私立幡多実業女子校が開校している。 平成14年、県立中村中学校が開校し、併設型中高一貫教育校として新たなスタートを切った。		
基本情報	教育方針 旧制中学校以来の「不動不休」の精神を教育の基本とし、中高一貫の6年間の生徒の切磋琢磨をとおして、豊かな心と知性を身に付け、未来を切り拓く人材を育成する。	進路状況 <ul style="list-style-type: none"> ・大学130名(76.9%) (内 国公立大学56名) ・短大2名(1.2%) ・専修等31名(18.3%) ・就職県内3名(1.8%) ・就職県外1名(0.6%) ・その他2名(1.2%) 現役合格者では国公立大学には筑波大、宇都宮大、新潟大、岡山大、広島大、山口大、香川大、愛媛大、徳島大、高知大、福知山公立大、岡山県立大、高知県立大、高知工大等私立大学では中央大、日本大、駒澤大、芝浦工業大、関西大、関西学院大、立命館大、関西外国語大、京都産業大、近畿大、甲南大、龍谷大、就実大、松山大等に合格している。		
	部活動 <ul style="list-style-type: none"> 体育系12部、文化系14部、同好会1部 <全国大会出場>ソフトテニス、陸上、柔道、水泳、美術、音楽 <四国大会出場>ソフトテニス、陸上、柔道、水泳、弓道、剣道、音楽 			
	主な出身中学 1.県立中村中 2.市立中村中 3.中村西中 4.大方中 5.清水中・宿毛中			
	教職員数 教員(期講及び時講含)48名・実習助手(期付含)1名・事務職員等8名			
学校の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・清流四万十川に近い古城山の麓に建つ、落ち着いた教育環境の学校である。 ・学習の達成度に応じた習熟度別学習や、希望に応じたきめ細かなカリキュラムがある。 ・大学進学講座をはじめとする補習体制が充実しており、模擬試験などを通じて、希望に応じたきめ細かな指導で生徒を支援している。 ・併設型中高一貫教育を生かした中・高合同の学校行事、学校生活や学習にピア・チューター制度を取り入れるなど、積極的に異年齢集団の交流を深めている。 ・夢を見つけ、実現するための「キャリア学習」や「朝プレ」などを通して、真の学力、生きる力の育成を目指している。 ・「個人探究」、「なかむら未来学発信場」(キャリア学習の発表会)などを通して、自分や地域の未来について考え、語ることのできる生徒の育成を目指している。 ・「生徒自主防災組織NDS D」による防災活動、「なかこう安全隊」による地域安全活動、ボランティア活動、挨拶運動等に積極的に取り組み、地域から信頼される学校を目指している。 ・部活動への加入率が高く、文武両道を目指している。 			

(令和5年5月1日現在)

高知県立中村高等学校西土佐分校
(全日制 普通科)

所在地	四万十市西土佐津野川223	アクセス	J R 江川崎駅から 5 km 国道 4 4 1 号四万十市内から 3 5 km
TEL	0 8 8 0 - 5 2 - 1 1 8 6		
通学方法	自転車 18 名、バイク 2 名、その他 1 名		
生徒数	普通科 (21 名) 1 学年 (8) 名・2 学年 (7) 名・3 学年 (6) 名		
校訓 および 校章	校訓 校是 『不動不休の精神』 「ゆるぎなき不動の信念 と新しい創造不断の努力 の大切さを表す」		校章  四万十市にゆかりの藤の複葉三本を「人」の字型に配し、その中央に「高」の字を図案化したものである。学校は、人づくりの場であり、3本の葉は、「真・善・美」の意味を表す。
	分校創立 7 2 年		スクールカラー (えんじ)
沿革	S26 高知県立中村高等学校津大分校 定時制昼間部として設立 S33 西土佐分校と改称 S40 全日制普通科に改編 S48 現校舎完成 H 4 プール完成 H 7 体育館完成 H23 創立 60 年 H24 創立 60 周年記念式典举行 R 3 創立 70 年 R 4 創立 70 周年記念式典举行	(沿革コメント) 昭和 2 6 年 地域の高等教育の必要性を求める声を受け、働きながら学べる昼間定時制として開校する。 昭和 3 3 年 津大村と江川崎村が合併して西土佐村となったことにより西土佐分校と校名を変更する。 昭和 4 0 年には、全日制課程普通科となり、現在に至っている。	
	教育方針 一人ひとりが学校、地域で自分の役割と居場所を感じ、仲間と地域を大切にして夢の実現に全力で取り組める人材を育成する。 目指す学校像 ○すべての生徒が安全に安心して学び、活動できる学校 ○すべての生徒が自分の居場所を見つけ、役割を感じられる学校 ○生徒、保護者、地域、教職員がつながる学校 ○故郷を愛し、故郷の未来を担う若者が育つ学校 ○教職員がワークライフバランスを実感し、仕事に充実感を得られる学校 目指す生徒像 ○学ぶ意欲と挑戦する意欲にあふれ、進路目標が達成できる生徒 ○互いに認め合う豊かな心と感謝の気持ちを持ち、地域に貢献できる生徒 ○故郷や自然、仲間を大切にし、つながる意識を持ち、地域の未来を担う生徒 ○規範や規律を意識し、基本的マナーが身についた生徒		
基本情報	進路状況 ・大学 1 名 (12.5%)・短大 1 名 (12.5%)・専修等 2 名 (25%)・就職県内 2 名 (25%) ・就職県外 1 名 (12.5%)・その他 1 名 (12.5%)		
	部活動 体育系：1 部、文化系：2 部、 体育系：カヌー部 文化系：ラポール部 クッキング部		
	主な出身中学 1 西土佐 2 中村西 清水 3 八束 東中筋 大方 広見 (愛媛県 鬼北町)		
	教職員数 13 名 { 教員 (期付及び時講含む) 10 名・事務職員等 3 名 }		
学校の特色 地域の魅力ある資源を活用した、特色ある教育課程を編成し、あらゆる進路に対応するために習熟度別の授業や進路補習、各種資格取得などへ積極的に取り組んでいる。さらに、小規模校の利点を生かし、全ての教育活動に対して、生徒一人ひとりにきめ細かな指導と手厚い支援を行い、夢の実現につなげている。 また、「地域とともにある学校づくり」を目標として、授業では「発掘・発展にしとさ」地域協働学習、生徒会では、地域と協力した清掃活動「NGK (西土佐キーパーズ)」、部活動の地域ボランティア隊ラポールによる保育所や小・中学校、福祉施設への訪問、などのさまざまな取り組みを行っている。これらの活動を通して地域と連携し、地域活性化の核となる人材の育成と「地域とともにある学校づくり」を目指している。 体育系の部活動では、日本最後の清流である四万十川を練習場としているカヌー部があり、令和 5 年度までインターハイ 11 年連続出場や国体出場などの戦績を残し、令和 3 年度はインターハイ女子カヌー競技カナディアンシングルで 500m・200m の 2 冠を達成し、日本代表として世界ジュニア選手権に出場するなど輝かしい戦績を残している。			

高知県立宿毛工業高等学校

(全日制 機械科〔機械専攻・自動車専攻〕・建設科〔土木専攻・建築専攻〕・電気科・情報技術科)

所在地	宿毛市平田町戸内2272-2	アクセス	土佐くろしお鉄道 工業団地駅から徒歩15分 高知西南交通バス路線有り
TEL	0880-66-0346		
通学方法	徒歩21名、自転車70名、鉄道33名、バス30名、バイク131名、その他18名		
生徒数	機械科機械専攻32名、機械科自動車専攻28名、建設科土木専攻60名、 建設科建築専攻51名、電気科28名、情報技術科104名 1学年89名、2学年106名、3学年108名 合計303名		
校訓 および 校章	<p>校舎玄関付近(建築研究部作成模型)</p>	校章	宿毛のSを図案化したものです。そのとんがりは四方八方へと発展していく姿を象徴したもので、工業高校らしく、science(科学)を表したのもでもあります。
		創立69年	スクールカラー えんじ色
沿革	<p>昭和29年 高知県立幡多農業高等学校山奈分校として開校</p> <p>昭和38年 県立宿毛農工高等学校認可</p> <p>昭和42年 県立幡多農工高等学校と統合</p> <p>昭和44年 県立宿毛工業高等学校と改称</p> <p>平成17年 学科改編により4科4専攻とする</p> <p>平成23年 「専門科目選択コース」「国公立進学科目選択コース」「公務員受験科目選択コース」の科目選択制導入</p> <p>平成26年 創立60周年記念式典挙行</p>	(沿革コメント)	昭和29年、農業の近代化と農業後継者育成を目的として、県立幡多農業高等学校山奈分校として設立されました。その後、時代の推移とともに工業科設置を望む声の高まりにより、昭和44年に工業専門の県立宿毛工業高等学校として改称し再発足しました。西南地域唯一の工業高校で、創立69年をむかえ、卒業生は7千人を超え、国内はもとより海外でも活躍しています。
基本情報	教育方針	<p>「人格の涵養を図るとともに、よき社会人としての資質を養い、産業と文化の発展に貢献できる人材の育成」のもと、「次世代の要請に応える人材を育む学校」として、生徒一人ひとりが洗練された感性と豊かな心を身につけ、優れた能力を伸ばさせ確かな学力を定着することによって、生徒・教職員が目標を立て、自己実現に挑戦し、達成感を感じ、誇りと自信を持てる学校であるとともに、生徒・保護者や地域社会から愛され信頼される学校を目指しています。</p>	
	進路状況	<p>・大学13名(13.8%)・専修等23名(24.5%)・就職県内24名(25.5%) ・就職県外34名(36.2%)</p> <p>大学等への進学、公務員としての就職、企業への就職と幅広い進路実現</p>	
	部活動	<p>体育系13部、文化系11部</p> <p>高知県大会 (ソフトテニス部男子団体3位・男子個人1位、陸上部男子高跳び6位、卓球部女子団体3位、空手道部女子個人形3位)</p> <p>四国大会出場(ソフトテニス部、陸上部、卓球部、空手道部) 全国大会出場(ソフトテニス部男子個人)</p> <p>※令和5年度(四国高校生ものづくりコンテスト【自動車整備・木材加工】、四国地区高校生溶接技術競技大会【被覆アーク溶接・CO2半自動溶接】) 出場権獲得</p>	
	主な出身中学	<p>1. 中村西中 2. 市立中村中 3. 宿毛中 4. 大月中、片島中、東中 5. 佐賀中</p>	
	教職員数	<p>教員(期講及び時講含)54名・講師4名・実習助手2名・事務職員等6名</p>	
学校の特色	<p><学科構成> 機械科(機械専攻・自動車専攻)、建設科(建築専攻・土木専攻)、電気科、情報技術科の4学科4専攻で構成されています。平成23年度入学生から「専門科目選択コース」「国公立進学科目選択コース」「公務員受験科目選択コース」の科目選択制が導入され、進路の実現をサポートしています。</p> <p><資格取得> 危険物取扱者・ガス溶接技能講習・技能検定機械加工・3級自動車整備士・2級土木施工管理技術検定・測量士補・2級建築施工管理技術検定・電気工事士・第3種電気主任技術者・ITパスポートなど工業に関するたくさん資格を取得できます。卒業後は、スペシャリストとして活躍しています。</p> <p><進路> 県内外の機械・自動車・建設・建築・電気関連の企業に技術・技能職で就職できます。もちろん、公務員希望の人や大学等進学希望の生徒の皆さんの夢も叶えます。</p>		

高知県立宿毛高等学校
(全日制 総合学科)

所在地	高知県宿毛市与市明5-82	アクセス	土佐くろしお鉄道「東宿毛駅」 から徒歩10分
TEL	0880-63-2164		
通学方法	徒歩19名、自転車67名、鉄道20名、バス11名、バイク33名、その他36名		
生徒数	総合学科186名 1学年62名、2学年74名、3学年50名		
校訓および校章	校訓 誠実 勤勉 進取 	校章  南海の由緒ある土地を表すのに、ここに自生し、万葉の古歌にも見える「はまゆう」を選び、新しい時代の曙を意味して「電子の軌道」を採った。この2つを組み合わせて学園の象徴とすることによって、文理の道を究め、美と真実を追求する学園の大いに興ることを願って作成。	
		創立79年	スクールカラー ブルー
沿革	◎男子校の部 S19.4 高知県立宿毛中学校として開校 ◎女子校の部 S21.5 高知県立中村高等女学校宿毛分教場として開校 ◎高等学校の部 S24.4 高知県立宿毛高等学校として発足 5 定時制小築紫分校開校 S48.4 定時制(夜間)発足 4 大月分校開設 H12.3 小築紫分校閉校 H15.4 総合学科開設 H26.3 大月分校閉校	(沿革コメント) 戦時中の昭和19年4月に高知県立宿毛中学校として発足し、戦後の学制改革により宿毛高等学校と改称された。定時制課程の併設、小築紫分校、大月分校の開設と県下でも数少ない総合高校として発展してきた。 その後、平成12年に小築紫分校と平成26年に大月分校が閉校、そして平成15年には県西部唯一の総合学科として、多彩な選択科目を設置し、生徒一人ひとりの興味関心、進路希望に沿った教育を行っている。	
基本情報	教育方針 生徒一人ひとりの夢の実現を目指し、個性を尊重しつつ社会人としての真の学力・生きる力を持った健全な人材の育成に努める。 教育目標 (1) 学力の向上 (2) 進路希望の実現 (3) 心身ともに健全な人間性の涵養(育成)		
	進路状況 大学11名(20.4%) <内 国公立大学1名(1.9%)> 短大2名(3.7%) 専修等22名(40.7%) 就職県内 10名(18.5%) 就職県外7名(13.0%) その他2名(3.7%)		
	部活動 体育系13部、文化系9部、同好会1 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの部活動が活動の制限を余儀なくされたが、その中でも、地道に活動を継続し、全国高校総体(レスリング)や四国大会(陸上、レスリング)にも出場している。		
	主な出身中学 1. 宿毛中 2. 片島中 3. 大月中 4. 東中 4. 小築紫中		
	教職員数 教員(期講及び時講含)37名・実習助手1名・事務職員等9名		
学校の特色	高知県の西の端、宿毛市に位置しており、昭和19年に創設され、今年で80年目を迎えた。創立以来建学の精神として、自主・自律を重んじる「自照館精神」を受け継ぎ、「誠実」「勤勉」「進取」を校訓としている。「心豊かで、心身ともに健康で、自ら判断して正しく行動できる人間を育成する」ことを教育方針に掲げ、これまで多くの卒業生を社会に送り出している。 また、総合学科として21年目になるが、総合学科特有の多彩な選択科目を設置し、生徒一人ひとりの興味や関心、進路希望に沿った教育を行っている。 1年次の「産業社会と人間」という授業では、社会や世界に目を向けて将来を考える一助とすることを目的に、SDGsの学習を中心に行っている。2、3年次には、「産業社会と人間」の学習内容を実践的に深めていくため、SDGsの視点から地域の課題解決に取り組み、探究の方法を学び、研究、探究、創造する能力を身につけるための学習である「総合的な探究の時間(自照)」の授業を行っている。		

高知県立宿毛高等学校
(定時制 普通科)

所在地	宿毛市与市明5 - 82	アクセス	土佐くろしお鉄道「東宿毛駅」 から徒歩10分
TEL	0880 - 63 - 2164		
通学方法	徒歩0名 自転車2名 鉄道1名 バイク4名 自家用車5名 その他0名		
生徒数	普通科 合計(12名) 1年次(4名)・2年次(2名)・3年次(3名)・4年次(3名)		
校訓および校章	校訓 誠実 勤勉 進取 	校章  <p>南海の由緒ある土地を表すのに、ここに自生し、万葉の古歌にも見える「はまゆう」を選び、新しい時代の曙を意味して「電子の軌道」と採った。この2つを組み合わせて学園の象徴とすることによって、文理の道を究め、美と真実を追求する学園の大いに興ることを願って作成。</p>	
		定時制創設 75年	スクールカラー ブルー
沿革	S23年6月 定時制普通科(夜間部)開設 S24年4月 同(夜間部・昼間)開設 S48年4月 夜間部のみの定時制に改編 H19年4月 単位制高校に改編	(沿革コメント) 戦前より地元の有志によって、全国唯一の「定時制中学」を開設しており、新制高校となっても「昼間定時」「夜間定時」と発展してきた。その間に、多くの有益な人材を輩出している。昭和48年から、夜間のみの定時制となり、平成19年度に「単位制高校」として改編し、現在に至っている。	
基本情報	教育方針 (1)勤労青少年の環境と、地域社会の特質に充分即応し、社会人として必要な高校の基礎学力を充実させ、積極的に勤労と学業を両立させるよう努める。 (2)公德心を養い、秩序と節度を重んじ、他を敬愛する豊かな人間性の育成に努める。 (3)創意と工夫によって不備を克服し、望ましい集団活動を通して、積極的に人生をたくましく生き抜く力の涵養をはかる。		
	進路状況 令和4年度卒業生(1名) 進学:0名(0%) 就職:0名(0%)		
	部活動 バドミントン部 卓球部		
	主な出身中学 宿毛、大月、橋上、片島、中村、中筋、八束、御荘		
	教職員数 教員10名(管理職及び期講・時講含) 事務職員等1名		
学校の特色	<p>学校は県西部の宿毛市にあり、校区は広く生徒は幡多郡一円から通学している。</p> <p>日々の高校生活では年齢や年次に関係なく交流があり、良好な人間関係が構築されている。また、約4割の生徒が昼間仕事をしており、学校生活以外にも様々な場面で助け合い、年次を越えアドバイスを与え合うなど、落ち着いた環境の中で学校生活を送ることができている。</p> <p>学習面では、専門教科として8単位の商業に関する科目を設置し、資格取得などにも取り組んでいる。また、過去に学校生活になじめなかった経験のある生徒や、学習が苦手であった生徒も「学び直し」の気持ちを持って意欲的に学習に取り組んでいる。また、定通併修制度を活用し、3年間で卒業する生徒もいる。</p> <p>近年生徒数が減少しているが、少人数の特性を生かし、教職員と生徒が和やかな雰囲気の中かで、進路実現に向けて一人ひとりに合った高校生活を送れるよう生徒支援に力を入れている。合わせて教育振興会をはじめ、地域からの温かい支援を受け、様々な学びの機会のある学校づくりを推進している。</p>		

高知県立清水高等学校
(全日制 普通科)

所在地	土佐清水市加久見 893-1	アクセス	土佐中村駅より車で50分 西南交通バス路線あり
TEL	0880-82-1236		
通学方法	徒歩25名、自転車26名、バス4名、バイク13名、その他28名		
生徒数	普通科96名 1学年22名、2学年48名、3学年26名		
校訓 および 校章	校訓 民主主義の理念、自由・平等・博愛・寛容 		校章  水平は水を示し、四水は清水に通ずると共に民主主義の自由・平等・博愛・寛容の四精神を表す。
			創立74年 スクールカラー ウルトラマリン (南海の潮色)
沿革	S22. 2. 1 高知県立中村中学校・同中村高等女学校清水分教場として開設 S24. 9. 1 高知県立清水高等学校として独立 S29. 4. 7 定時制課程認可 S38. 4. 1 水産に関する(漁業科)設置認可 H7. 4. 10 アメリカ、フェアハイブン高校と姉妹校締結 H11. 3. 31 水産に関する学科(漁業科)閉科 H21. 11. 6 創立60周年記念式典挙行 R 1. 11. 16 創立70周年記念式典挙行		(沿革コメント) 戦後の平和国家建設には教育が第一という地域の強い理念の下、地域住民による全額寄付で新校舎を落成させ昭和24年に独立。 地域の特性を活かし昭和38年に漁業科を開設する。時代の変化に伴い平成11年漁業科を廃科、少子化、経済不況の波を受け生徒数は減少しているものの、地域の支援を全面的に受け、地域の高等教育を支えている。
基本情報	教育方針 第3期高知県教育振興基本計画に基づき、学校の教育活動を通して、高い志を掲げ郷土への愛着と誇りを持つとともに柔軟な国際感覚と社会に貢献する気概と実践力を備えた、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。		
	進路状況 大学10名(29.4%) <内 国公立大学1名> 短大3名(8.8%) 専修学校等14名(41.2%) 就職県内1名(2.9%) 就職県外6名(17.7%) 大学短大・専修学校等で79.4%、就職20.6%であった。		
	部活動 体育系9部、文化系8部		
	主な出身中学 1. 清水中 2. 城北中 3. 城西中 4. 一宮中 5. 大月中		
学校の特色	教職員数 教員(期講及び時講含)25名・事務職員等14名		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土佐清水市唯一の高等学校として、教育目標である「地域の未来を担う人材の育成」を目指し、地域と一体となった教育活動を推進しています。学力の向上と、心豊かな人間性を身につけ、社会に貢献する志をもつ人材を育てます。 ○ 「21世紀のジョン万」を育てるために、大学や研究機関と連携した取組を進めています。 ○ 1年次には数学・英語で習熟度別を、2・3年次にはコース制を採用し、生徒一人ひとりのニーズに応じたきめ細かい指導によって進路保障を図ります。 ○ アメリカ、フェアハイブン高校と姉妹校提携を結び、同校及びフェアハイブンとの交流を通じて国際理解教育を推進し、幅広い視野を有した人材の育成に努めます。 【教育内容】 (Ⅰ型類型)：就職や専門学校、文系大学・短大進学希望生徒を対象とし、芸術科目・家庭科目の履修や商業科目・情報科目による資格取得等が可能なコースです。 (Ⅱ型類型)：大学入学共通テスト受験や国公立大学・理数系大学、それに準ずる専門学校進学後の学習科目対応として、国・社・数・理・英に関する科目を多く履修できるコースです。		

高知県立清水高等学校
(定時制 普通科)

所在地	高知県土佐清水市加久見 893-1	アクセス	土佐中村駅より車で50分 西南交通バス路線あり
TEL	0880-82-1236		
通学方法	徒歩5名、バイク3名		
生徒数	普通科8名 1年次1名、2年次5名、3年次1名、4年次1名		
校訓 および 校章	校訓 民主主義の理念、自由・平等・博愛・寛容 		校章  水平は水を示し、四水は清水に通ずると共に民主主義の自由・平等・博愛・寛容の四精神を表す。
			創立 74 年
沿革	S22. 2. 1 高知県立中村中学校・同中村高等女学校清水分教場として開設 S24. 9. 1 高知県立清水高等学校として独立 S29. 4. 7 定時制課程認可 S38. 4. 1 水産に関する(漁業科)設置認可 H7. 4. 10 アメリカ、フェアヘイブン高校と姉妹校締結 H11. 3. 31 水産に関する学科(漁業科)閉科 H21. 11. 6 創立60周年記念式典挙行 R1. 11. 16 創立70周年記念式典挙行		(沿革コメント) 戦後の平和国家建設には教育が第一という地域の強い理念の下、地域住民による全額寄付で新校舎を落成させ昭和24年に独立。 地域の特性を生かし昭和38年に漁業科を開設する。時代の変化に伴い平成11年漁業科を廃科、少子化、経済不況の波を受け生徒数は減少しているものの、地域の支援を全面的に受け、地域の高等教育を支えている。
基本情報	教育方針 第3期高知県教育振興基本計画に基づき、学校の教育活動を通して、高い志を掲げ郷土への愛着と誇りを持つとともに柔軟な国際感覚と社会に貢献する気概と実践力を備えた、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。		
	進路状況 【令和4年度卒業生】 就職県内1名(50%)、その他1名(50%)		
	部活動 体育系3部 バドミントン部 卓球部 陸上部 全国高等学校定時制通信制体育大会第50回卓球大会出場 第65回高知県定時制通信制高等学校体育大会 卓球の部女子個人第2位		
	主な出身中学 1. 清水中		
教職員数 教員(期講及び時講含)11名 ・事務職員等5名			
学校の特色	<p>○単位制を活かした教育を推進しています。</p> <p>生徒一人ひとりのペースに応じた学びが可能です。通信制との併修制度を利用して在籍期間3年で卒業することも可能です。</p> <p>○地域と共に子どもたちを育てています。</p> <p>土佐清水市は地域連携に大変熱心な地域です。子どもたちに係わる情報を地域で共有し、地域住民の声に耳を傾け、地域と共に子どもたちを育てています。</p> <p>○定時制教育振興会による支援が充実しています。</p> <p>約240名の地域の皆様、団体に支えられた清水高校定時制教育振興会があります。集められた会費は、生徒一人ひとりへの支援として活用されており、地域の方々に温かく見守られながら学ぶ事ができています。</p> <p>【教育内容】</p> <p>普通教科の科目を中心とした教育課程を設置しており、基礎的な学力を身につけることに重点的に取り組んでいます。少人数の特性を生かし、一人ひとりに寄り添った指導・きめ細かな指導を受けながら、学びなおしの気持ちをもって意欲的に取り組むことができます。</p>		